2013（平成25）年2月22日
第37回土木学会トークサロン

国土教育を考える

ー日米の社会科教科書比較を通してー

森 田 康 夫（国土学アナリスト）

1

この物語のストーリー

Ⅰ. 『国土学』から始まる物語

Ⅱ. 国土教育の歴史と日本人

Ⅲ. アメリカの歴史・地理教科書から学ぶ

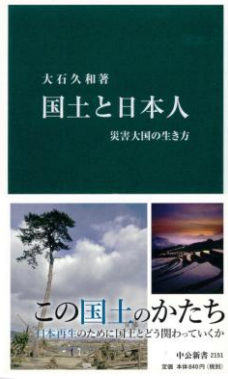
Ⅳ. 国土教育の未来

2

Ⅰ.『国土学』から始まる物語

3

国土学の教科書 『国土と日本人』（大石久和著）



4

『国土学』とは・・・

「われわれは、先人たちの努力の成果のうえで暮している
われわれは、世界の人々と競争しながら生きている」

国土への働きかけをしないと、
恵みを受け取れない

地球史軸

国土への働きかけ

国土の歴史的形成

時間軸

長年の国土への働きかけの努力が結実した「現在の国土」をどう引き継いでいくのか、どう改善して、次の世代に渡すのか

国土の国際比較

空間軸

世界の人々は国土をどのように改善し、生活の安全・生活の効率を上げようとしているのか、それに対して、わが国の経済競争力をどう発展させていけばよいのか

国土経営（この学問化としての「国土学」）

国土の自然条件
国土の社会条件
の差を認識する。

※大石久和氏（財）国土技術研究センター）資料より

5

東日本大震災を経験して①

- 日本の国土は自然災害に対して、如何に脆弱であるか
  ⇒欧州先進国と比べ「10のハンディキャップ」
- この国土の上で、日本人は何度も何度も大きな災害に見舞われながら、その都度苦しみを乗り越え、立ち上がってきた。
- 人の生活にとって、道路等の社会資本（インフラ・ストラクチャ）が如何に重要であるか。
- 先人たちが残してくれた財産の上に、今の生活がある。したがって、現世代のわれわれは、これらの資産を改善し、将来世代に引き継いでいかなければならない。
- 世界の国々と競争しながら生きていくためにも。

6

脆弱な国土と厳しい自然条件（10のハンディ・キャップ）

①国土形状	南北2,000km、東西2,000kmに及ぶ細長い国土（幅は最大で250km程度）
②四島	海峡により陸地が分断。多数の島嶼部で構成
③背梁山脈	細長い国土を2000m級の山脈が縦貫し、日本海側と太平洋側に二分。 河川は急勾配で短く、流域面積も小さい。 （国土は109の1級水系と2722の2級水系が作る分水嶺で細かく分割）
④地質	国土面積の70%を占める山岳地帯は崩落しやすい風化岩や複雑な岩種で構成
⑤平野	河口部か山間盆地にしか平野が無く、狭い平野が分散している上に、国土面積に対する比率が小さい（低地：13%、台地：12%）。 全ての大都市は河川の氾濫区域に存在

※ 大石久和氏（(財)国土技術研究センター）資料より。 7

脆弱な国土と厳しい自然条件（10のハンディ・キャップ）

⑥軟弱地盤	大都市区域のほとんどが軟弱地盤の上にある
⑦地震・津波	国土面積が世界の地表面積の0.25%しかないのに、マグニチュード4以上の地震の約10%が日本で発生（マグニチュード6以上では全世界の20%）
⑧豪雨	多雨：地球総平均(800ﾐﾘ)の2倍以上の年間降雨(1,400～1,600ﾐﾘ)があるが、梅雨末期と台風期に集中（⇒脆弱な水資源、大きな災害リスク）
⑨強風	台風の通り道に沿うかたちで列島が展開
⑩豪雪	国土面積の60%が積雪寒冷地域 （年間累計降雪深4m超の豪雪地帯に大都市が存在）

※ 大石久和氏（(財)国土技術研究センター）資料より。 8

パリに比べ二重・三重のハンディ・キャップを抱える東京

	パリ	東京
地震力	考慮する必要がない	大きな地震力を考慮しなければならない
地盤条件	岩盤上にある	軟弱地盤上にある
強風特性	ハリケーンは来ない	頻繁に台風の襲撃をうける
氾濫原	洪水によって氾濫することはない	多くの地域が浸水してしまう

※大石久和氏（(財)国土技術研究センター）資料より 9

フランスと日本の橋脚の違い

阪神高速道路の橋脚

シャルル・ド・ゴール空港のアクセス道路の橋脚

※大石久和氏（(財)国土技術研究センター）資料より 10

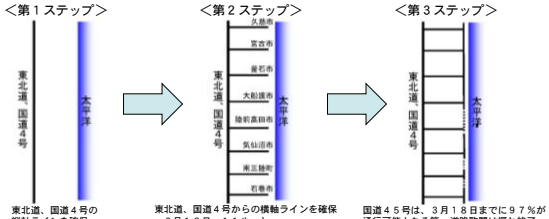
東日本大震災を経験して②

- 日本の国土は自然災害に対して、如何に脆弱であるか
  ⇒欧州先進国と比べ「10のハンディキャップ」
- この国土の上で、日本人は何度も何度も大きな災害に見舞われながら、その都度苦しみを乗り越え、立ち上がってきた。
- 人の生活にとって、道路等の社会資本（インフラ・ストラクチャ）が如何に重要であるか。
- 先人たちが残してくれた財産の上に、今の生活がある。したがって、現世代のわれわれは、これらの資産を改善し、将来世代に引き継いでいかなければならない。
- 世界の国々と競争しながら生きていくためにも。

11

「くしの歯」作戦－三陸沿岸地区の道路啓開・復旧

➢津波被害で大きな被害が想定される沿岸部への進出のため、「くしの歯型」救援ルートを設定



出典：国土交通省東北地方整備局資料より作成 12

緊急輸送路として機能した東北道・国道4号・東西軸

1日で緊急輸送路として機能した
東北自動車道(村田～仙台南)

NEXCO東日本提供資料

国道283号岩手県遠野市内

岩手県提供資料

出典：国土交通省東北地方整備局ホームページ

13

迂回路・避難路として機能した三陸道ー『命の道』

釜石山田道路の両石高架橋（岩手県釜石市３月１７日）

岩手

岩手県提供

路面が崩落した国道45号(岩手県釜石市3月14日)

大津波に機能・効果発揮

三陸縦貫道など高規格道路

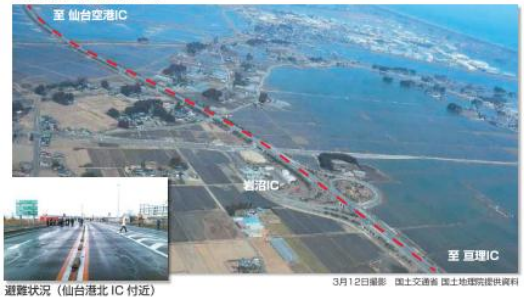
被災地へ「命の道」確保

出典：国土交通省東北地方整備局ホームページ
：日刊建設工業新聞 2011年（平成23年）3月18日より抜粋

14

防潮堤として機能した仙台東部道路ー『命の道』

仙台東部道路(宮城県岩沼市)



避難状況（仙台港北 IC 付近）

3月12日撮影　国土交通省 国土地理院提供資料

➡ 非日常から日常へ思いを巡らす

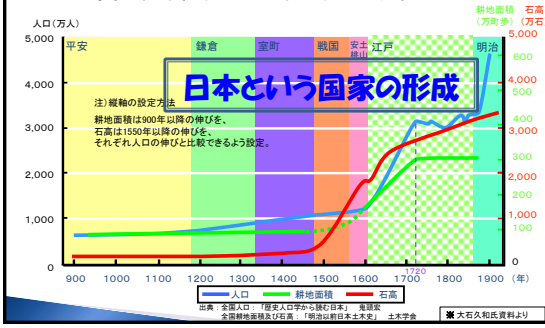
出典：国土交通省東北地方整備局ホームページ

15

人口、耕地面積、石高の推移

国土への働きかけと恵み

➢国土への働きかけ（耕地面積の拡大）の積み重ねが国の発展（人口の増加）に寄与。



出典：全国人口：『歴史人口学から読む日本』　鬼頭宏
全国耕地面積及び石高：『明治以前日本土木史』　土木学会

※大石久和氏資料より

16

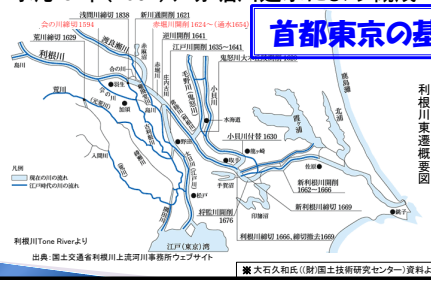
利根川の東遷

国土への働きかけと恵み

➢徳川家康の江戸入府を契機に、江戸湾（現東京湾）から銚子へと流路を替える利根川東遷事業が開始

➢文禄３年（1594会の川締切）から60年の歳月をかけて、承応３年(1654)、赤堀川通水により概成

首都東京の基礎



出典：国土交通省利根川上流河川事務所ウェブサイト

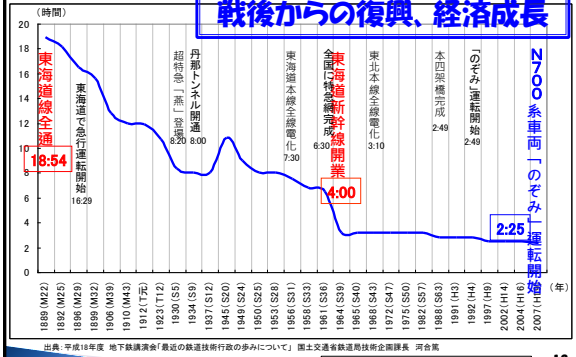
※大石久和氏（(財)国土技術研究センター）資料より

17

東京～大阪間の所要時間の変遷

国土への働きかけと恵み

戦後からの復興、経済成長



出典：平成18年度　地下鉄講演会「最近の鉄道技術行政の歩みについて」国土交通省鉄道局技術企画課長　河合篤

※大石久和氏（(財)国土技術研究センター）資料より

18

国土への働きかけと恵み

東海道の両端を毎週移動する私（2012年）

【通常】　片道4時間30分の往復
伊賀上野（実家）⇔二子新地（自宅）
- 東急・田園都市線
- 横浜市営地下鉄・ブルーライン
- JR・東海道新幹線
- JR・関西本線

東海道

五畿七道の一つで、
伊賀国（三重県西部）から
常陸国（茨城県）に至る
本州太平洋側・中部を指す
行政区分

交通インフラの整備効果

【平日】　片道2時間＋αの往復
二子新地（自宅）⇔つくば（勤務地）
- 東急・田園都市線
- 東京メトロ・半蔵門線＋千代田線
- つくばエクスプレス
- 関東鉄道バス

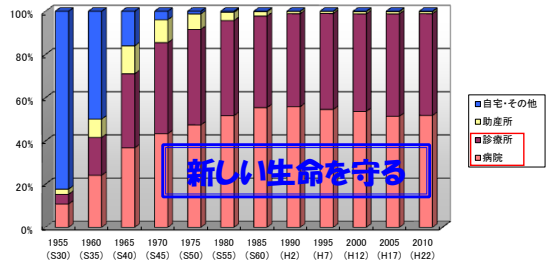
親の死を看取る、遠距離通勤

19

国土への働きかけと恵み

出生場所の変化

➢個別移動手段である自動車が各家庭のなかに浸透
⇒ 病院や診療所で生まれる子供が増加



出典：「人口動態調査」厚生労働省　http://www.mhlw.go.jp/shingi/2005/09/s0905-7d.html　他

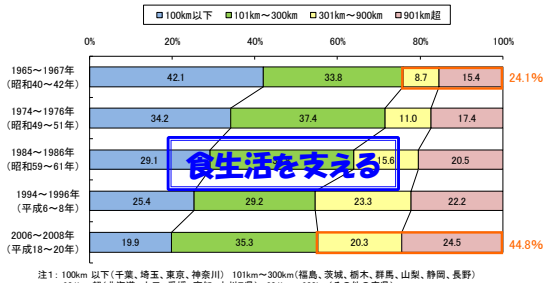
※大石久和氏（財）国土技術研究センター）資料より

20

国土への働きかけと恵み

都民の食生活を支える道路網の整備

東京中央卸売市場の野菜出荷額（金額）における
東京からの距離帯別シェアの推移



注1：100km 以下（千葉、埼玉、東京、神奈川）　101km～300km（福島、茨城、栃木、群馬、山梨、静岡、長野）
901km 超（北海道、山口、愛媛、高知、九州7県）　301km～900km（その他の府県）
注2：沖縄県及び外国からの入荷高を除く
資料）東京都中央卸売市場年報

出典：「高速道路便覧2009」（P191）

※大石久和氏（財）国土技術研究センター）資料より

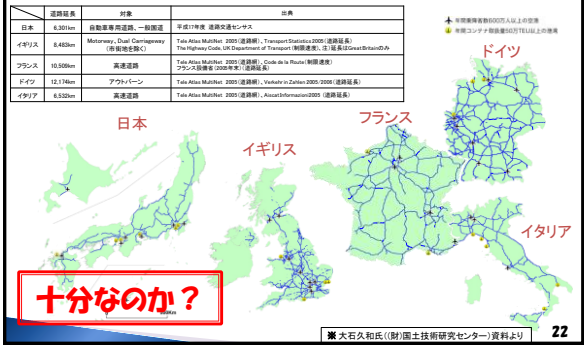
21

国際比較（世界との競争）

日英仏独伊道路ネットワーク比較（制限速度100km/h以上）

※日本は制限速度80km/h以上

	道路延長	対象	出典
日本	6,301km	自動車専用道路、一般国道	平成17年度　道路交通センサス
イギリス	8,483km	Motorway、Dual Carriageway（市街地を除く）	Tele Atlas MultiNet　2005（道路網）、Transport Statistics 2005（道路延長） The Highway Code, UK Department of Transport（制限速度）、注：延長はGreat Britainのみ
フランス	10,506km	高速道路	Tele Atlas MultiNet　2005（道路網）、Code de la Route（制限速度） フランス鉄道省（2005年末）（道路延長）
ドイツ	12,174km	アウトバーン	Tele Atlas MultiNet　2005（道路網）、Verkehr in Zahlen 2005/2006（道路延長）
イタリア	6,532km	高速道路	Tele Atlas MultiNet　2005（道路網）、Aiscat Informazioni2005（道路延長）



※大石久和氏（財）国土技術研究センター）資料より

22

国際比較（世界との競争）

日英仏独伊道路ネットワーク比較（制限速度60km/h以上）

	道路延長	対象	出典
日本	21,900km	自動車専用道路、一般国道	全国デジタル道路地図データベース整理、平成17年度 道路交通センサス
イギリス	39,054km	Motorway、Dual Carriageway、Single Carriageway（市街地を除く）	Tele Atlas MultiNet　2005（道路網）、Transport Statistics 2005（道路延長） The Highway Code, UK Department of Transport（制限速度）、注：延長はGreat Britainのみ
フランス	37,000km	高速道路、国道	Tele Atlas MultiNet　2005（道路網）、Code de la Route（制限速度）、 フランス鉄道省（2005年末）（道路延長）
ドイツ	44,097km	アウトバーン、連邦道路（市街地を除く）	Tele Atlas MultiNet　2005（道路網）、Statistisches Jahrbuch 2004（道路延長）
イタリア	27,395km	高速道路、国道	Tele Atlas MultiNet　2005（道路網）、Anuario statisco Italiano 2003（道路延長）

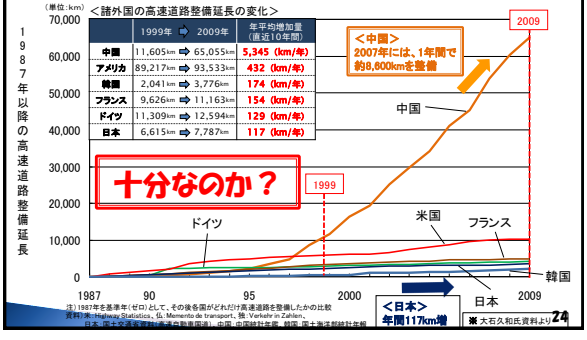
※大石久和氏（財）国土技術研究センター）資料より

23

国際比較（世界との競争）

諸外国における高速道路整備スピード

➢諸外国では、近年も日本を上回るペースで高速道路を整備（特に中国は超ハイペースで整備）



注）1987年を基準年（ゼロ）として、その後各国がどれだけ高速道路を整備したかの比較
資料：Highway Statistics、仏：Memento de transport、独：Verkehr in Zahlen、
日本：国土交通省「道路交通白動車調査」、中国：中国統計年鑑、韓国：国土海洋部統計年報

※大石久和氏資料より

24

II. 国土教育の歴史と日本人

詳しくは、JICE REPORT 第16号・第17号をご覧下さい。

国土教育と日本人

現在、われわれが享受している豊かで安全な生活は、われわれのご先祖様が農業基盤や交通基盤を整備し、川を治め、水資源を開発するなど、絶え間なく国土に働きかけることによって、国土から恵みを返してもらってきた歴史の賜物である。

従って、現代に生きるわれわれの世代も、国土に対して働きかけを続け、将来世代に対して、より良い社会基盤を引き継いでいかなければならない。そのためには、われわれ日本人の国土への働きかけの歴史について、また世界の国々の国土への働きかけの成果や現在の努力について、不断に学び続けることが求められている。

- わが国の小中高等学校教育では、社会科（地理歴史科）の教育内容はどうなっているのか？
- 日本という国家を担っていくために必要な知識・教養を学ぶことは出来ているか？
- 改善の方向性は？
（柳田国男、F・ブローデル、内村鑑三の思想と『国土教育』）

柳田国男監修の社会科教科書（小6）最終稿

みんなが幸福になれるように

世の中のおおぜいの人の幸福や利益のためにもうけられているものが、公共しせつです。社会には乳児院やたく児所や養老院などのほか、いろいろな公共しせつがあります。つぎの表は、そのおもなものです。

健康、安全	保健所、病院、水道、下水、警察署、消防署、火の見やぐら、公衆浴場など
交通、通信	飛行場、バス、駅、道路、橋、郵便局、ポスト、公衆電話、電柱、道路標識など
教育、レクリエーション	学校、公民館、図書館、博物館、美術館、動物園、植物園、遊園地、公園など

これらのなかには、知っているものがたくさんあるでしょう。それはどれとどれか、それが私たちの生活にどのように役だっているか、話しあってみましょう。

むかしにくらべると、今はこういうしせつがずいぶんとのっています。しかし、まだこれでじゅうぶんだとはいえません。公共しせつがもっとりっぱになれば、それだけみんなが幸福になれるのです。

公共しせつについてだいじなことをきめるのは、国や地方の議会です。議会では公共しせつのほかにも、みんなを幸福にするための、いろいろなきそくやしくみをきめます。だから、国民の一人一人がものごとを正しく判断できる力を身につけて、りっぱな議員を選挙することがたいせつなのです。

社会の役にたつ人間になるためには、私たちがこれから勉強しなければならないことがたくさんあります。

出典：柳田国男　昭和28年5月『日本の社会　六年下』実業之日本社

青少年の意識調査の国際比較（日本青少年研究所）①

■「高校生の意欲に関する調査」（2006年・秋）

- 「暮らしていける収入があればのんびりと暮らしていきたいと思う」
  ⇒ 米国13.8%、中国17.8%、韓国21.6%、日本42.9%
- 「偉くなりたいと思う」
  ⇒ 米国66.1%、中国85.8%、韓国72.3%、日本44.1%

■「中学生・高校生の生活と意識に関する調査」（2008年・秋）

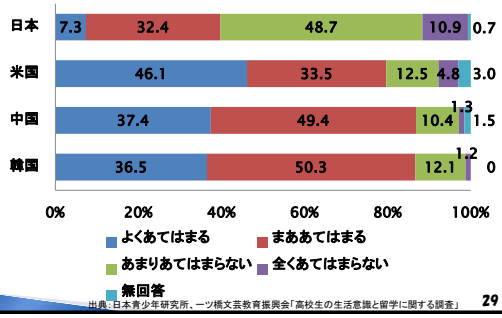
- 「私の参加により、変えてほしい社会現象が少し変えられるかも知れないと思う」
  ⇒ 中学生で、米国53.3%、中国58.3%、韓国66.5%、日本37.3%
  高校生で、米国69.8%、中国62.7%、韓国68.4%、日本30.1%　減
- 「自分はダメな人間だと思う」
  ⇒ 中学生で、米国14.2%、中国11.1%、韓国41.7%、日本56.0%
  高校生で、米国21.6%、中国12.7%、韓国45.3%、日本65.8%　増

出典：日本青少年研究所「国内外の青少年の意識及び行動についてのアンケート調査」

青少年の意識調査の国際比較（日本青少年研究所）②

■「高校生の生活意識と留学に関する調査」（2011年・夏～秋）

- 「私は他の人に劣らず価値のある人間である」

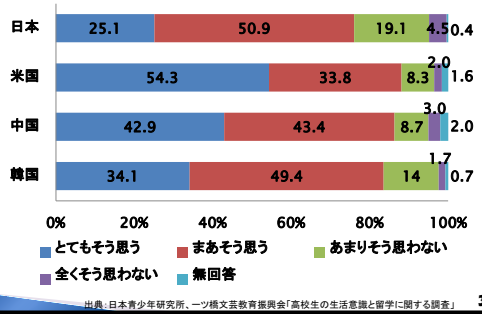


出典：日本青少年研究所、一ツ橋文芸教育振興会「高校生の生活意識と留学に関する調査」

青少年の意識調査の国際比較（日本青少年研究所）③

■「高校生の生活意識と留学に関する調査」（2011年・夏～秋）

- 「社会のために役立つ生き方をしたい」

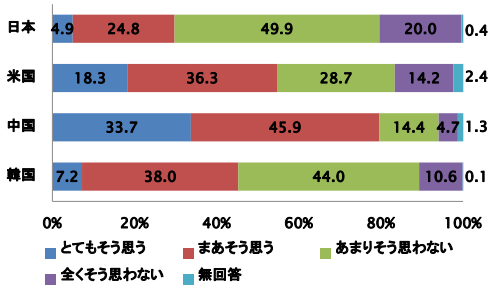


出典：日本青少年研究所、一ツ橋文芸教育振興会「高校生の生活意識と留学に関する調査」

青少年の意識調査の国際比較（日本青少年研究所）④

■「高校生の生活意識と留学に関する調査」（2011年・夏～秋）

●「自国が危機な状況になったら国のために何でもする」



出典：日本青少年研究所、一ツ橋文芸教育振興会「高校生の生活意識と留学に関する調査」

31

学習指導要領の変遷（小中学校社会科）

■ 昭和22年度版（試案）⇒「問題解決学習」「生活単元学習」主体で、多くの時間が配当された。

（GHQによって戦後禁止されていた修身・歴史・地理が、新教育制度発足とあわせ「社会科」として再生。）

■ 昭和30年度版 ⇒ 単元学習から系統性重視へ

■ 昭和33年10月施行 ⇒ 系統性を重視したカリキュラム、「道徳」の特設

私 ■ 現代化カリキュラム（S46・47施行） ⇒ 戦後最高レベルの濃密な学習指導要領

■ ゆとりカリキュラム（S55・56施行） ⇒ 授業時数と指導内容が大幅に削減

■ 旧学習指導要領（H4施行） ⇒ 小学校1・2年の社会科が廃止され、「生活科」が創設

子 ■ 学習指導要領（H14施行） ⇒ 学校完全週5日制の下、「総合的な学習の時間」が創設

■ 新学習指導要領（H23～段階実施） ⇒ 教育基本法改正を踏まえ充実（小学：自然災害、中学：日本・世界地誌 等）

32

小学校「社会科」教科書と国土教育

■ 授業時間数の減少（「現代化カリキュラム」→「～H22」で1/3減）

- 昭和46年施行指導要領 ：小4～6年の社会科授業時間合計で420時間／3年
- 平成14年施行指導要領 ：小4～6年の社会科授業時間合計で275時間／3年

■『国土（郷土）を開発してきた先人達の努力』－小学4年生－

- 昭和45年検定教科書 ：「開発のむかしといま」という単元で46頁（東京書籍）
  - ・相模原台地の新田開発・ダム
  - ・箱根用水
  - ・高浜山の砂防林（出雲市）
  - ・天竜川の堤防
  - ・八郎潟の干拓
  - ・高速道路、観光道路、住宅用地、水道等々

  「交通の発達」という別単元で46頁
  - ・江戸時代以降の交通の歴史（道路、水運）
  - ・鉄道整備の歴史と鉄道網
  - ・鉄道をしく苦心（トンネル、橋梁）
  - ・交通の発達と産業への影響等
- 平成16年検定教科書 ：「大河原用水（八ヶ岳山麓）の開発」について14頁

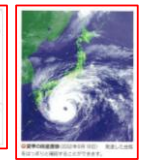
➡ 私（現代化カリキュラム）と子どもの小学生時代では、圧倒的に国土への働きかけに関する学習量が違う

33

中学校「地理分野」教科書と国土教育①

■ 昭和30年の学習指導要領以降、地理分野の検定教科書の学習項目・内容は、*大きく変わっていないように見える。*

➡ わが国の国土・自然条件（火山や地震が多い、平野が狭い、川が急で短い、台風が来る等）については、いずれの時代の教科書においても、学習可能



出典：五味文彦・斎藤功・高橋進ほか45名　平成17年検定済『新編　新しい社会　地理』東京書籍

34

中学校「地理分野」教科書と国土教育②

■「現代化カリキュラム」の昭和46年検定教科書と、平成17年検定教科書を比較すると、全体頁数は2/3に削減（本文323頁→215頁）

■「現代化カリキュラム」では、日本の地誌、世界の国々の地誌を系統的・網羅的に学習することができたのに対して、平成17年検定教科書では、ごく一部の地誌しか学ぶことができない

- 例えば、世界の地誌については、アメリカ、中国、フランスについては学べるが、あとはブラジル、マレーシア、オーストラリア、ガーナについて補足的に学べる程度

➡ 中学地理分野教科書は重要な「国土教育」の材料であるが、教科書記載分量及び授業時間数の大幅削減により、十分な思考が深まっていかない学習環境へ

※ 新学習指導要領を踏まえた平成24年度以降の教科書では「世界の諸地域の地理」「日本の諸地域の地理」が復活

出典：いずれも東京書籍版検定済教科書より

35

中学校「歴史分野」教科書と国土教育（平成17年検定）

■ 歴史分野教科書（平成17年検定）は、歴史上の著名な人物や文化遺産等を主人公とする「政治史・人物史」「事件・出来事史」となっているため、国土形成の歴史や社会資本の役割や効果、社会資本整備に携わってきた人々の苦労など「国土教育」に関係する記述は限定的

- 渡来人が灌漑用のため池をつくる技術を伝えた（5世紀頃）
- 平城京の整備、都と国府を結ぶ道路の整備（奈良時代）
- 行基のみちびしん（橋や用水路の整備）（奈良時代）
- 平清盛による兵庫港整備（平安時代末期）
- 農村における灌漑用水路の整備や管理（室町時代）
- 東海道など五街道の整備と宿駅・関所の整備（江戸時代）
- 幕府の新田開発（江戸時代）
- 鉄道の開通、汽船の運航、電信網整備、北海道開拓（明治維新）
- 鉄道ネットワークの整備と国有化（明治時代）
- 関東大震災後の復興・都市計画（大正～昭和時代初期） 等

➡「国土教育」を学ぶ材料として、現在の「歴史分野」教科書に効果的な役割を期待することは難しい

出典：五味文彦・斎藤功・高橋進ほか45名　平成17年検定済『新編　新しい社会　歴史』東京書籍　ほか

36

中学校「歴史分野」教科書と国土教育（昭和20年代）

■ 単元学習の時代の教科書（昭和27年検定）
- 「都市や村の生活はどのように変わってきたか（中学2年・単元Ⅰ）」
  ＝ 約100頁
- 「世界の諸地域はどのように結びついてきたか（中学1年・単元Ⅳ）」
  ＝ 約100頁

⇒ 都市や村の形成の歴史、これらを結びつける交通の発達の歴史、
海外の都市形成・交通発達の歴史との比較　等

➡ 戦後、昭和20年代の教科書で授業を受けた者は、長年の国土への働きかけの努力が結実した「現在の国土」をどう改善して次の世代に渡すのかについて、思いをはせることが可能であった。
また、世界をも視野に入れた自立した物差しで考えることができたのではないか。

出典：海後宗臣　昭和27年検定済『新しい社会科　中学1年　上・下』『中学2年　上・下』東京書籍　37

中学校「公民分野」教科書の内容の変化①

■ 家庭教育の扱いが極めて小さくなった
- 昭和27年検定教科書：「学校生活」について約40頁、「家庭生活」について約30頁
- 平成17年検定教科書：『個人と社会生活』という節中で、実質2頁弱

■ 政府（行政）や公務員の役割が小さくなった
- 昭和27年検定教科書：「政府や公務員の役割」について約25頁
  うち、「国の実施する社会資本整備関係記述」のみで約2頁
- 平成17年検定教科書：「行政」について9行、「公務員」について7行

■ 自由主義から平等主義へ
- 昭和27年検定教科書：「自由主義」を中心として約90頁
- 平成17年検定教科書：「自由権」について2頁、「平等権」について6頁

出典：いずれも東京書籍版検定済教科書より　38

中学校「公民分野」教科書の内容の変化②

■ 文化・芸術や宗教知識教育の空洞化
- 昭和27年検定教科書：「文化」全体で168頁
  （うち「宗教」「芸術」「科学」各約50頁）
- 平成17年検定教科書：いずれも数行の世界

➡ 戦後、自立すら許されなかった時代でさえ、これだけの学習指導要領や社会科教科書を作って、次の世代の国民の教育に力を注いだ先人達の努力を、現世代のわれわれは今こそ見つめ直すべきではないか。

出典：いずれも東京書籍版検定済教科書より　39

現行高等学校「地理B」教科書の例（帝国書院）①

出典：高橋彰・平戸幹夫・片平博文・矢ケ崎典隆・内藤正典・杉谷隆・松本淳・戸井田克己・友澤和夫　平成18年検定済『新詳地理B　初訂版』帝国書院　40

現行高等学校「地理B」教科書の例（帝国書院）②

▲② 日本とイギリスの地形の比較　日本は山がちで急峻な山地が多いのに対し、イギリスではなだらかな山地や平野が多い。

出典：高橋彰・平戸幹夫・片平博文・矢ケ崎典隆・内藤正典・杉谷隆・松本淳・戸井田克己・友澤和夫　平成18年検定済『新詳地理B　初訂版』帝国書院　41

高等学校「地理B」教科書と国土教育③

― 産業（農業等）が国土への働きかけであることの説明 ―

■「昭和31年検定済教科書」
⇒ 農業だけでなく、牧畜、水産、林業、そして工業に至るまで、教科書（経済地理分野）で取り上げられている全ての産業の最初の記述の部分で、それぞれの産業と国土（地理的条件）との関係がしっかり説明されている。

― 交通の発達と機能に関する説明 ―

	記述内容	記述頁数
昭和31年検定教科書	陸上交通（道路、鉄道）と水上交通（内陸水路、海上交通）が中心	14頁
昭和53年検定教科書		6頁
現行の教科書	航空交通が中心	3頁

大幅に削減

出典：いずれも帝国書院版検定済教科書より　42

高等学校「地理B」教科書と国土教育④

－ 国家についての説明 －

■「昭和31年検定済教科書」
- 「国はその国民をつくっていこうとする意欲と情熱をもっているものでなければならない。」
- 「国土としてまとまった統一あるものに組織されて行くには、国の力が問題となる。すなわち国の位置、形、大きさ、経済力、軍事力、その民族の文化的社会的な強さの総合されたものが国力である。」
- 「国力を決定づけるものとして、国土の広さと共に、国民人口とその素質および国民の国家意識があげられる。」

■「昭和53年検定済教科書」及び「現行の教科書」
⇒「国家」を論じる箇所はあるが、取り立てて紹介すべき内容は見あたらない。

出典：いずれも帝国書院版検定済教科書より

43

高等学校地理教育が抱える課題

■ **中学校社会科の履修内容の減少による影響**
- 中学校で遊ぶ世界地理は、中国、アメリカ合衆国、EUの一国のみ。
  ⇒「地理」に関心が無い高等学校入学生の増加　※新学習指導要領で改善

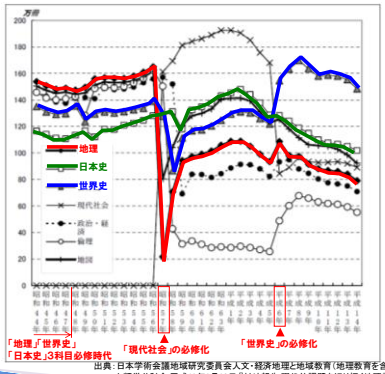
■ **学習指導要領（世界史のみ必修）の影響**
- 「地理」の開講率および選択者数の減少
  ⇒「地理」履修者は、全生徒の半数以下に低迷

■ **大学入学試験の影響**
- 私立文系：「地理」では受験できない大学・学部が多い。
- 国立文系：地理歴史科から2科目を課す大学・学部は稀。
- 私立理系：「地理」は受験科目外。
  ⇒「地理」履修者の多くは理系の生徒。しかもセンター試験対策。

■ **教員養成上の問題**
- 「地理」を専門とする教員の減少
  ⇒ 高等学校で「地理」を履修せず、大学でも専門として「地理」を学んでいない教員が、「地理」の面白さを授業で伝えることは困難。

44

高等学校社会科・科目別教科書需要数の推移



出典：日本学術会議地域研究委員会人文・経済地理と地域教育（地理教育を含む）分科会、人類学分科会 平成19年9月20日『対外報告 現代的課題を切り拓く地理教育』に加筆

45

地理歴史教育復権に向けた取り組みと今後の展望

■ **大学入試科目と高等学校履修科目の増加**
- 大学（文系学部）の入試科目数を増やし、「地理歴史科から2科目以上選択」を標準化
- 高等学校学習指導要領を見直し、地理、世界史、日本史の3科目必修化

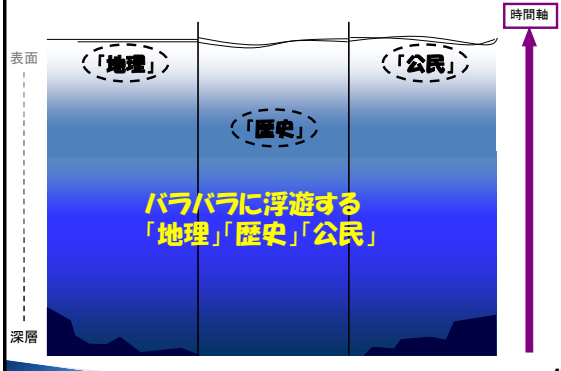
■ **地理歴史教育全体の底上げ**
- 「地理歴史に関する総合的な科目の設置」の検討
  ⇒ 暗記科目としての地理歴史科から脱却し、歴史的な視野（時間軸）と世界的な視野（空間軸）を持って「現在を如何に生きるか」を考えることの出来る「日本人」育成のための教育科目へ

フランスでは、地理と歴史はセットになった1つの科目であり、日本の中学・高校にあたるコレージュ（11～15歳）とリセ（15～18歳）の7年間毎年必修で学習する。

■ **高質な教育者の育成と幅広い実践**

46

わが国の社会科教育のイメージ



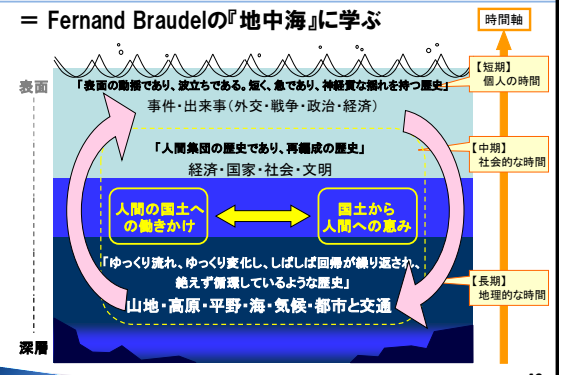
47

フェルナン・ブローデル（1902-85年）著『地中海』

- スペイン帝国とオスマン・トルコ帝国が覇権を争っていた16世紀後半の地中海世界に関する歴史書
- 正式著書名『フェリーペⅡ世時代の地中海と地中海世界』
- 歴史学のみならず、民族誌学、地理学、植物学、地質学、科学技術など隣接学問をも含めた広範かつ膨大な数の論文、報告書、出版物等を駆使して著述した「全体の歴史書」
- 歴史の主人公を、政治史や外交史の主要な登場人物であるフェリーペⅡ世という個人ではなく、「地中海とそれを取り巻く地中海世界」という、大きな「空間」にしたこと
  ⇒「世界システム論（イマニュエル・ウォーラーステイン）」への流れ
- 空間（地理的条件や自然環境）が歴史において果たす役割に焦点が当てられるとともに、歴史（時間軸）が段階的に成層化された三つの次元、
  －「地理的な時間（長期）」
  －「社会的な時間（中期）」
  －「個人の時間（短期）」
  に区別され、三部構成で展開されていること

48

歴史の深層としての「国土」
＝ Fernand Braudelの『地中海』に学ぶ



まず初めに山地（山地と諸文明・諸宗教）

「山は、ふつう、都市や低地国の創造である諸文明から離れた世界である。山の歴史、それは諸文明をいささかも持たないことであり、ほとんどいつも文明普及の大きな流れの周縁にあることである。（中略）十六世紀には至るところで、高地の世界は、地中海の支配的な諸宗教にほとんど興味を示さない。至るところに、山岳生活のずれがあり、遅れがある。」

- 山地にとって、ローマ帝国はほとんど重要でなかった。
- 山地はラテン語を受け付けなかった。
- 16世紀の山地では、カトリックにとってもイスラム教にとっても、伝道の任務は達成されるにはほど遠い状況であった。一方、いわゆる魔術が長く生き残るのも山の世界であった。

【フランスとピエモンテの間のアルプス山脈】

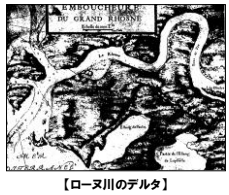
出典：フェルナン・ブローデル（著），浜名 優美（翻訳）平成3年－7年『地中海』（全5巻） 藤原書店

山地から平野へ

「おそらく山は、その起源において、この海の歴史を作りさえしたのだ。（中略）平野は、もとは淀んだ水とマラリアの領分であったという事実がある。あるいは大河の変わりやすい水が溢れ出てくる地帯であった。人の住む平野、これは今日では繁栄のイメージであるが、それが達成されたのは遅く、何世紀にもわたる集団の努力の骨折りの結果である。」

- 平野…かつてはマラリアや洪水のリスクを抱えた土地
- その阻止と灌漑用水の獲得（＝土地改良）に懸ける弛み無い努力の積み重ねが、今日の人類繁栄の背景に存在する。

⇒「つねに地中海の人間は沼地と戦ってきた」
…地中海の農村史の本当の独自性



【ローヌ川のデルタ】

出典：フェルナン・ブローデル（著），浜名 優美（翻訳）平成3年－7年『地中海』（全5巻） 藤原書店

「歴史地理学」と『国土教育』の概念

■ Fernand Braudelの歴史認識
- 「自然環境」（≒「国土」）を、人間の尺度（人間集団の尺度、人間社会の尺度）で見つめ直すことが、真の歴史学「歴史地理学」である。

■ 『国土教育』の骨格
- 歴史の目で見るからこそ、「国土」と人間との関係が、一歩引いた目線から俯瞰的に見える。
- 例えば、人間と距離との戦いが「交通」であることは、現在の目線からのみでは、明確に読み取ることはできない。
- だからこそ、如何に「国土」が人間にとって重要で、「国土」への働きかけと「国土」からの恵みの相互作用によって人間の生活が保たれているか、人類の幸せが担保されているかということを、われわれは深く認識しなければならない。＝『国土教育』の実践

⇒ 初等・中等地理歴史科教育に携わる者の責務
⇒ 大学・大学院で土木工学を学び、社会に出て国土整備・国土管理に携わる者の責務

内村鑑三『デンマルク国の話』より

【あらすじ】 1864年のプロシア・オーストリアとの戦いに敗れ、肥沃な南部2州を奪われたデンマークが、工兵士官ダルガス父子の努力によって国土の過半を占める不毛の荒野「ユトランド」への植林に成功し、小国ながらも豊かで平和的な国家として再建した話

今、ここにお話しいたしましたデンマークの話は、私どもに何を教えますか。
第一に戦敗かならずしも不幸にあらざることを教えます。国は戦争に負けても亡びません。実に戦争に勝って亡びた国は歴史上けっして尠くないのであります。国の興亡は戦争の勝敗によりません、その民の平素の修養によります。善き宗教、善き道徳、善き精神ありて国は戦争に負けても衰えません。（中略）
第二は天然の無限的生産力を示します。富は大陸にもあります、島嶼にもあります。沃野にもあります、沙漠にもあります。大陸の主かならずしも富者ではありません。小島の所有者かならずしも貧者ではありません。善くこれを開発すれば小島も能く大陸に勝さるの産を産するのであります。（中略）外に拡がらんとするよりは内を開発すべきであります。
第三に信仰の実力を示します。国の実力は軍隊ではありません、軍艦ではありません。はたまた金ではありません、銀ではありません、信仰であります。（以下略）」

出典：内村鑑三 昭和51年1月『後世への最大遺物・デンマルク国の話』岩波書店

II章で伝えたいこと
＝「人」と「国土」と「信仰・教育」の重要性

■ 自分は歴史の最先端に立っていて、その自分が未来を切り開いていかなければならない、覚悟をもって前を向いて生きていかなければならない
⇒「自由」に生きる個人、自立した「国民」の育成

■ 歴史の深層には「国土」というものがあって、これを絶え間無く改善していかなければ、歴史の表面にある経済的出来事や政治的出来事を本質的に変えていくことはできない
⇒「国土」への気付き、「国土」への働きかけ

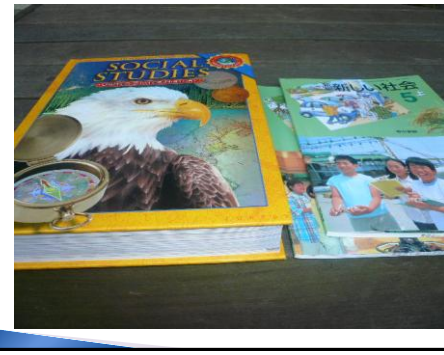
■ これらの実現のためには、信仰心に根ざした教育が不可欠である（自利利他、隣人愛、・・・）

Ⅲ. アメリカの歴史・地理教育から学ぶ

詳しくは、JICE REPORT 第19号・第20号をご覧下さい。

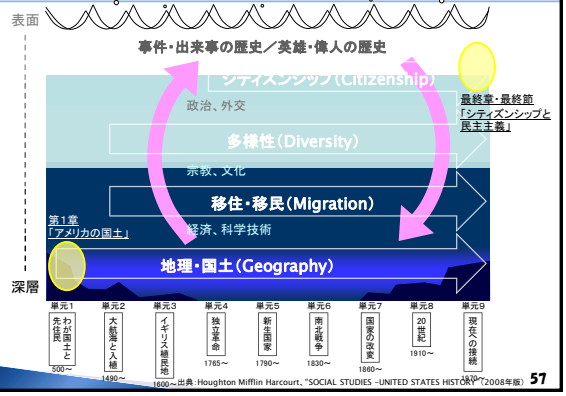
55

アメリカ人の学ぶ「合衆国史」教科書（Grade5教科書）



56

アメリカ人の学ぶ「合衆国史」の構造（Grade5教科書）



出典：Houghton Mifflin Harcourt、"SOCIAL STUDIES –UNITED STATES HISTORY"（2008年版） 57

合衆国史の主要テーマ1：「地理・国土（Geography）」

- 「合衆国史」教科書の最初（第1章）の学習テーマ
  ⇒「アメリカの国土（America's Land）」
- つまり、歴史教科書の最優先学習課題として、「地理・国土（Geography）」が位置づけ。

歴史の深層には必ず地理や国土というものがあって、その上で相互に影響を与え・受けながら、国民の歴史が展開されてきた。
という「合衆国史」教科書の構造

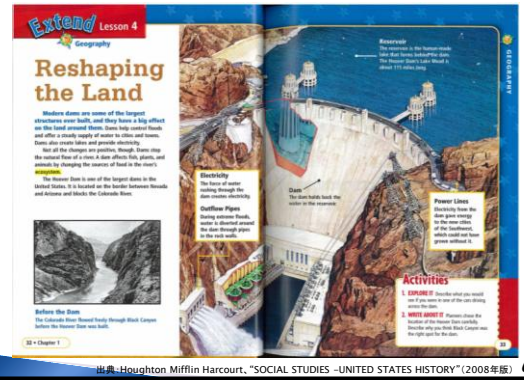
出典：Houghton Mifflin Harcourt、"SOCIAL STUDIES –UNITED STATES HISTORY"（2008年版） 58

第1章・Lesson1「国土と気候（Land and Climate）」

この教科書では、合衆国に暮らす国民のことを学びます。この教科書を読んでいくうちに、合衆国民にとって国土がいかに重要なものであったか、そして今も重要なものであるかがわかると思います。合衆国を理解するには、地理を習得しなければなりません。地理とは、世界とそこに住む人々や事象について学習することです。地理学者は、地球のことを、そして如何に地球が人類にとって住みよいものとなるかについて考えます。彼らは、場所とはどこで、どんな特徴があるのかということを問いかけます。**また、国土が人に如何に働きかけ、また人が国土に如何に働き返すかについても問いかけます。彼らの回答は、われわれが過去、現在、そして未来をより理解するための手助けになるでしょう。**

出典：Houghton Mifflin Harcourt、"SOCIAL STUDIES –UNITED STATES HISTORY"（2008年版） 59

フーバーダムの効用と環境への影響

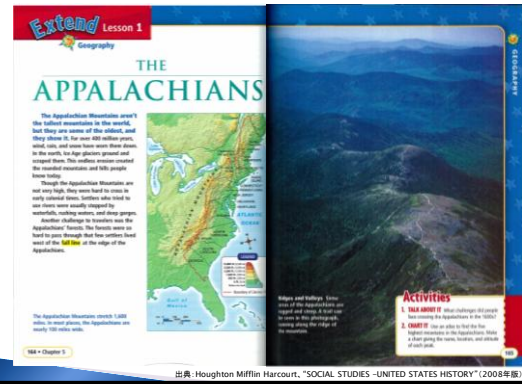


出典：Houghton Mifflin Harcourt、"SOCIAL STUDIES –UNITED STATES HISTORY"（2008年版） 60

ハリケーンの発生メカニズムとその影響

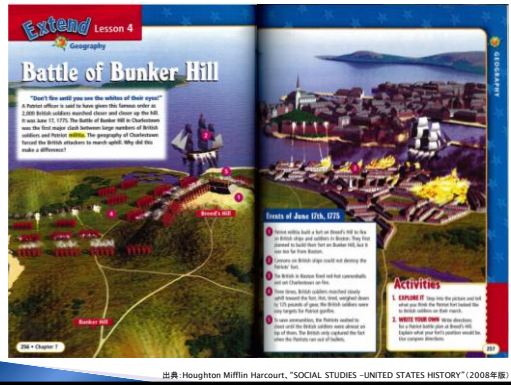
出典:Houghton Mifflin Harcourt、"SOCIAL STUDIES –UNITED STATES HISTORY"(2008年版) 61

アパラチア山脈が阻む西部移住



出典:Houghton Mifflin Harcourt、"SOCIAL STUDIES –UNITED STATES HISTORY"(2008年版) 62

独立戦争の軍事地理学的考察

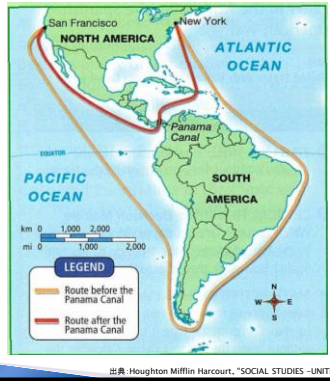


出典:Houghton Mifflin Harcourt、"SOCIAL STUDIES –UNITED STATES HISTORY"(2008年版) 63

大陸横断鉄道の整備と移動時間

出典:Houghton Mifflin Harcourt、"SOCIAL STUDIES –UNITED STATES HISTORY"(2008年版) 64

パナマ運河の開通



パナマ運河の開通により、ニューヨーク～サンフランシスコ間の航路が13,000マイルから5,200マイル未満に短縮

出典:Houghton Mifflin Harcourt、"SOCIAL STUDIES –UNITED STATES HISTORY"(2008年版) 65

合衆国史の主要テーマ2:「移住・移民(Migration)」

- 氷河期にベーリング地峡を渡って南北アメリカ大陸に移住してきた古代インディアン
- 入植・植民地時代(17～18世紀)⇒ イギリス系・フランス系・オランダ系移民とアフリカ系奴隷
- 18世紀中頃から ⇒ ドイツ系・アイルランド系
- 1880年代から ⇒ イタリア系・ユダヤ系・スラブ系
- 第二次世界大戦後 ⇒ アジア系・ラテンアメリカ系

➡ アメリカ合衆国はいずれの時代も世界中から多くの移民(Immigration)を受け入れてきた

出典:Houghton Mifflin Harcourt、"SOCIAL STUDIES –UNITED STATES HISTORY"(2008年版) 66

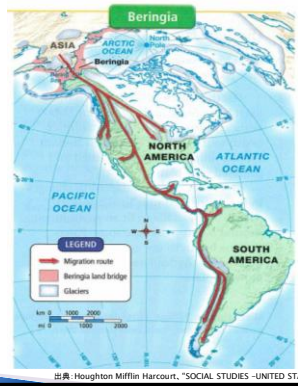
「移住・移民(Migration)」②

- 17世紀初めのイギリス植民地建設と同時に始まり、1890年の「フロンティアの消滅」をもって終わりを告げた西部開拓の歴史
- 1920年代のアフリカ系アメリカ人の北部への大移住 ⇒「ハーレム・ルネッサンス」
- 1930年代のダストボウル・マイグレーション(グレートプレーンズで断続的に発生した砂嵐に伴う農業崩壊・離農・移住)

➡ 移民たちは、より良い生活を目指して、西部へ、北部へと大陸を移住(Migration)していった

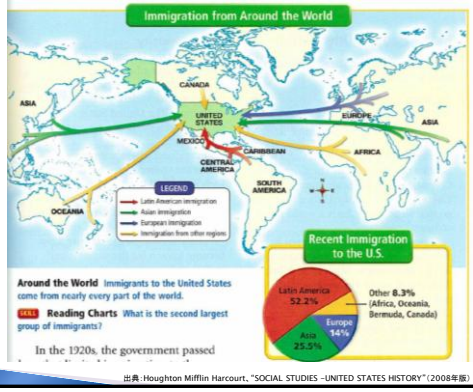
出典:Houghton Mifflin Harcourt、"SOCIAL STUDIES –UNITED STATES HISTORY"(2008年版) 67

氷河期にアメリカ大陸に移住してきた古代インディアン



出典:Houghton Mifflin Harcourt、"SOCIAL STUDIES –UNITED STATES HISTORY"(2008年版) 68

世界中から移民を受け入れてきたアメリカ合衆国



出典:Houghton Mifflin Harcourt、"SOCIAL STUDIES –UNITED STATES HISTORY"(2008年版) 69

合衆国史の主要テーマ3:「多様性(Diversity)」

- 世界有数の多民族国家
  - ✓ ヨーロッパ系(ドイツ系、アイルランド系、イギリス系、イタリア系、フランス系)
  - ✓ ヒスパニック系
  - ✓ アフリカ系
  - ✓ アジア系
  - ✓ アメリカ・インディアン
- 多様な宗教を抱える国
  - ✓ プロテスタント(バプテスト派教会、メソジスト派教会、ルター派教会ほか)
  - ✓ ローマ・カトリック
  - ✓ ユダヤ教
  - ✓ イスラム教　ほか

➡ 民族と宗教の多様性(Diversity)は、合衆国の最大の強みの一つである

出典:Houghton Mifflin Harcourt、"SOCIAL STUDIES –UNITED STATES HISTORY"(2008年版) 70

E pluribus unum(エ・プルリブス・ウヌム)(多数から一つへ)

- アメリカ合衆国の標語(motto)
- 13文字からなるラテン語(独立当時は13州)
- 英語 : Out of many, one

Motto on Money
American coins are a daily reminder of the motto "E pluribus unum."

➡ 人種・宗教・信条を超えて一つの国家としてまとまろう

出典:Houghton Mifflin Harcourt、"SOCIAL STUDIES –UNITED STATES HISTORY"(2008年版) 71

「多様性(Diversity)」②

- これまでの合衆国史の主流は「ワスプ・男性」(White Anglo-Saxon Protestant)

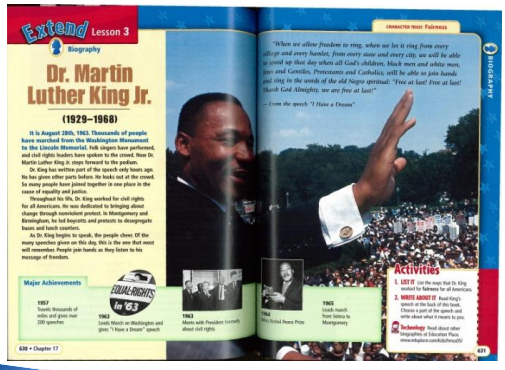
⇕

- 教科書(Grade5)全レッスンのうちの約6割で、「マイノリティや女性たち」の活躍が記述(アフリカ系、ラテン系、アジア系、インディアンなど)

➡ マイノリティや女性たちの歴史的役割を評価、合衆国史の主流に位置づけ

出典:Houghton Mifflin Harcourt、"SOCIAL STUDIES –UNITED STATES HISTORY"(2008年版) 72

キング牧師「私には夢がある」



出典:Houghton Mifflin Harcourt、"SOCIAL STUDIES –UNITED STATES HISTORY"(2008年版) 73

合衆国史の主要テーマ4:「シティズンシップ(Citizenship)」

「合衆国史」教科書の**最終レッスン**の学習テーマ
⇒ **「シティズンシップ(Citizenship)」**

出典:Houghton Mifflin Harcourt、"SOCIAL STUDIES –UNITED STATES HISTORY"(2008年版) 74

「シティズンシップ(Citizenship)」②

- **民主主義国家の市民(Citizen)であることは、権利(Right)と責任(Responsibility)を併せ持つことを意味する。**
- **権利(Right)とは、法律によって担保された自由(Freedom)のことであり、権利章典(Bill of Rights)に書かれた宗教の自由、言論や報道の自由、平和的に集会し抗議する権利、公正な裁判を受ける権利を含む。**
- **責任(Responsibility)には、投票(Vote)、遵法(Obey laws)、納税(Pay taxes)、陪審(Serve on juries)が含まれる。**

出典:Houghton Mifflin Harcourt、"SOCIAL STUDIES –UNITED STATES HISTORY"(2008年版) 75

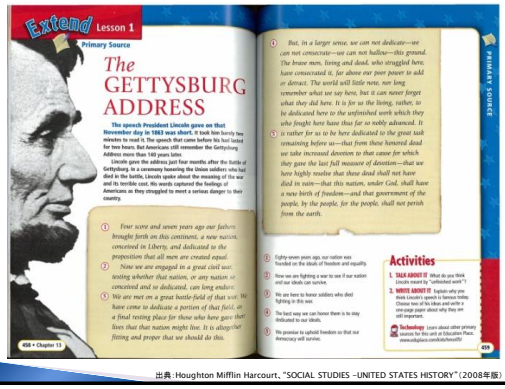
「シティズンシップ(Citizenship)」③

- **投票権を持たない若者もボランティアを通して地域や国家に貢献することが必要である。**
- **また、これからしっかり学習することで、大人(18歳)になった時に良い投票が可能となり、結果、民主主義に貢献することも、合衆国をより良い国にすることもできるようになる。**

➡ 戦後の小学校社会科教科書(柳田国男監修の小学6年生用教科書の最終頁)を思い出させる。

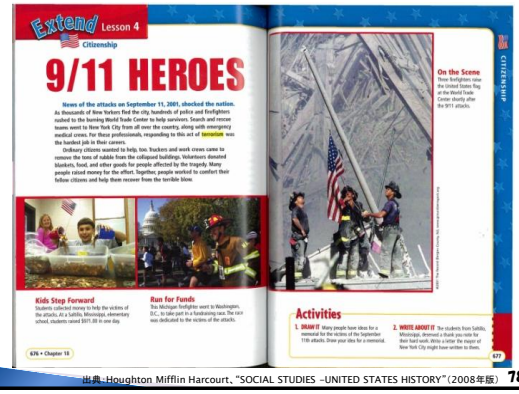
出典:Houghton Mifflin Harcourt、"SOCIAL STUDIES –UNITED STATES HISTORY"(2008年版) 76

ゲティスバーグ演説



出典:Houghton Mifflin Harcourt、"SOCIAL STUDIES –UNITED STATES HISTORY"(2008年版) 77

9・11の英雄たち



出典:Houghton Mifflin Harcourt、"SOCIAL STUDIES –UNITED STATES HISTORY"(2008年版) 78

高校の「合衆国史」教科書における『歴史的主題』

（1）多様性とナショナル・アイデンティティ
（DIVERSITY AND THE NATIONAL IDENTITY）
（2）世界情勢とアメリカ（AMERICA IN WORLD AFFAIRS）
（3）経済的機会（ECONOMIC OPPORTUNITY）
（4）科学・技術（SCIENCE AND TECHNOLOGY）
（5）女性と政権（WOMEN AND POLITICAL POWER）
（6）移民と移住（IMMIGRATION AND MIGRATION）
（7）州の権利（STATES' RIGHTS）
（8）投票権（VOTING RIGHTS）
（9）公民権（CIVIL RIGHTS）

出典：Holt McDougal, a division of Houghton Mifflin Harcourt 、"The Americans"（2008年版）79

高校の「合衆国史」教科書における『地理的主題』

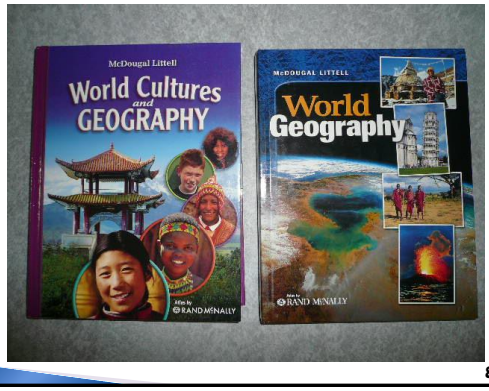
地理の５大テーマ

（1）位置（LOCATION）
（2）場所（PLACE）
（3）地域（REGION）
（4）移動（MOVEMENT）
（5）人間と環境の相互依存関係
（HUMAN-ENVIRONMENT INTERACTION）

➡ この国では『国家の歴史は、国民（people）や出来事（events）と同じように、地理（geography）によって形作られる』という明確な理念がある

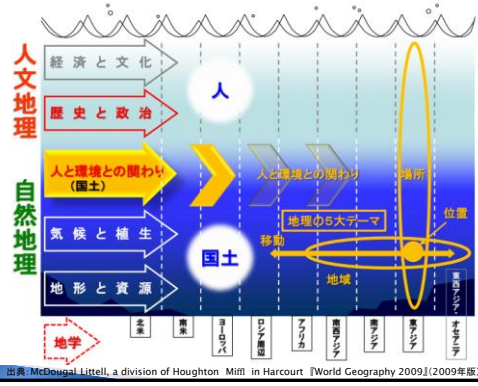
出典：Holt McDougal, a division of Houghton Mifflin Harcourt 、"The Americans"（2008年版）80

アメリカ人の学ぶ地理教科書（中学・高校）



81

アメリカ人の学ぶ「世界地理」の構造（高校教科書）



出典：McDougal Littell, a division of Houghton Mifflin Harcourt 『World Geography 2009』（2009年版）82

「人と環境（国土）との関わり」という学習単元

	テーマ1	テーマ2	テーマ3
（Unit2）合衆国とカナダ	■アメリカ大陸への先住民の入植と農業による国土の改変（農作物の主要輸出国へ）【米国、カナダ】	■都市の建設（地下空間利用が進む寒冷地・モントリオール、スプロール化が進むロサンゼルス）【米国、カナダ】	■内陸運河、大陸横断鉄道、国道ネットワークの整備による「距離の克服」【米国、カナダ】
（Unit4）ヨーロッパ	■ポルダー（堤防や用水路を用いて開拓した埋立地）整備による国土創造の歴史【オランダ】	■運河建設によるヴェネツィア（ベニス）の商業的発展と今日的課題（水害や水質汚濁など）【イタリア】	■数百年にわたる森林伐採と酸性雨の被害によって木々が枯死している「黒い森（シュヴァルツヴァルト）」【ドイツ】
（Unit9）東アジア	■長江に建設された三峡ダムのプラス効果とマイナス効果【中国】	■山地の島国に1億2700万人が暮らす日本の都市生活（公害、狭い住居、長距離通勤、埋立）【日本】	–

出典：McDougal Littell, a division of Houghton Mifflin Harcourt 『World Geography 2009』（2009年版）83

オバマ合衆国大統領・就任演説（2009年1月）

新しい雇用を創造するだけでなく、成長の新しい基盤を築くために我々は行動する。我々は商業の糧となり、我々を結びつける道路や橋、送電網や通信網を造る。科学を本来あるべき地位に引き上げ、医療の質の向上とコストを抑えるために素晴らしい技術を駆使する。太陽、風、大地を使い自動車を動かし、工場を稼働させる。新しい世代の需要に合うように学校や大学を変革していく。これらはすべて実現可能だ。そして我々はこれらをすべてやる。（NIKKEI NET訳）

➡ インフラ投資に対する確固たる姿勢

84

オバマ合衆国大統領・就任演説（2009年1月）②

彼らは私たちのためにわずかな所持品をかばんにしまい、海洋を旅し、新しい生活を探してくれた。**彼らは私たちのために工場で汗を流して働き、西部を開拓し、むち打ちに耐え、硬い大地を耕してくれた。**彼らは私たちのためにコンコード、ゲティスバーグ、ノルマンディー、ケサンのようなところで戦い、命を落とした。**これらの男女は私たちがよりよい暮らしを送れるよう何度も何度も苦闘し、犠牲を払い、手が腫れるまで働いてくれた。**彼らの目に映る米国は、１人ひとりの大望の集積もさらに大きいものだった。生まれや富や党派の違いを超越した国だった。**これが今日も我々が続けている旅だ。我々は依然として地球上で最も繁栄し、強い国家だ。**

➡ **過去と現在と未来をつなぐ壮大な物語**

85

オバマ合衆国大統領・就任演説（2009年1月）③

アメリカよ。共通の危機に直面した今、この困難な冬に、我々はこの時を超えた言葉を思い出そうではないか。希望と美徳によって、氷のように冷たい流れにもう一度勇敢に立ち向かい、いかなる嵐が訪れようとも耐えようではないか。**子々孫々が今を振り返った時に、我々が試練の時に旅を終えることを拒否し、引き返すことも、たじろぐこともなかったということを語り継がせようではないか。**地平線に視線を定め、**神の慈悲**を身に浴びて、**我々は自由という偉大な贈り物を運び、将来の世代に安全に送り届けたということを。**ありがとう。**神の祝福**がみなさまにあらんことを。そして、**神の祝福**がアメリカ合衆国にあらんことを。
（NIKKEI NET訳）

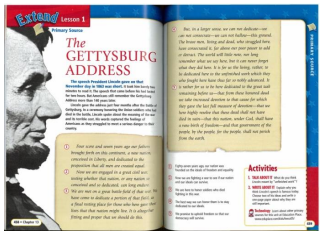
➡ **過去と現在と未来をつなぐ壮大な物語**

オバマ大統領演説は「合衆国史」「地理」教科書の延長

86

「神の下なる一つの国家（国民）」の歴史

- **メイフラワー誓約（1620年）に含まれる「神の栄光のため(for the glory of God)」という言葉。**
- **アメリカ独立宣言（1776年）に含まれる「創造主によって(by their Creator)」という言葉。**
- **ゲティスバーグ演説（1863年）に含まれる「この国に神の下で(this nation, under God)」という言葉。**



出典:Houghton Mifflin Harcourt、"SOCIAL STUDIES –UNITED STATES HISTORY"（2008年版）

87

現在の「神の下なる一つの国家（国民）」

- **「合衆国国旗への忠誠の誓い」に含まれる「one Nation under God」という言葉。**

  I pledge allegiance to the Flag of the United States of America, and to the Republic for which it stands, one Nation under God, indivisible, with liberty and justice for all.

- **「E PUBLIBUS UNUM」と書かれたアメリカ合衆国の硬貨の表側にある「IN GOD WE TRUST」というもう一つのモットー。**
- **大統領就任式**
  - **聖職者（牧師、神父、ラビ）の祈祷**
  - **宣誓（締めくくり）**
    ⇒聖書に手を置き、「神よ、私をお助けください」

88

アメリカを形成するユダヤ・キリスト教的価値観

- **アメリカ合衆国という国は、多様性を重んじながら統一を生み出すために、個個人の信教の自由を守りながら国家全体の存在を神に根拠づけてきた。**
- **言い換えれば、「神の視点」を持ち出すことによって、多民族的・多文化的・多宗教的な集団からなるアメリカ合衆国という国家の統合を図ってきた。**
- **憲法起草者たちは政治と宗教を分離したとはいっても、人間は創造主の前には平等であり、人間を導くのは神の意志であるということについては一点の疑問も持たなかった。**

89

神の視点（曽野綾子氏）

私は決してだれもが信仰を持つべきだ、などと言うつもりはありません。しかし、**人間の視点だけで、人間の世界が見通せるとはどうしても思えない。私たちは地形を総合的に把握しようとする時、自分の身長だけでは足らず、必ず高みに登ります。**

それと同じように、**神の視点というものがあってこそ、初めて私たちは人間世界の全体像を理解できる**ような気がしてならないのです。

出典：曽野綾子『老いの才覚』（ベスト新書）

90

Ⅳ. 国土教育の未来

今回、書き起こし

新しい教育基本法、学校教育法、学習指導要領

➢2006（平成18）年12月：教育基本法の改正（新教育基本法）

・旧教育基本法（1947年制定）を戦後初めて（約60年ぶりに）全面改正

（教育の目標：新設）
第二条　教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。
一　幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
二　個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
三　正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
四　生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
五　伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

新しい教育基本法、学校教育法、学習指導要領

➢2006（平成18）年12月：教育基本法の改正（新教育基本法）

教育を実施する際に基本となる事項について、
①義務教育、学校教育、教員、社会教育、政治教育、宗教教育に関する規定を見直した（例えば、宗教教育に関しては、宗教に関する一般的な教養は教育上尊重されるべきことを新たに規定）ほか、
②新たに、大学、私立学校、家庭教育、幼児期の教育、学校・家庭・地域住民等の相互の連携協力などについて規定

➢2007（平成19）年6月：学校教育法の一部改正

・教育基本法改正を受け、新たに義務教育の目標が規定されるとともに、各学校段階の目的・目標規定が改正

➢2008（平成20）年3月：小・中学校の学習指導要領の改訂（新学習指導要領）

➢2011（平成23）年4月：小学校で新学習指導要領が全面実施

➢2012（平成24）年4月：中学校で新学習指導要領が全面実施

新しい学習指導要領　中学校の標準授業時間数（必修5教科）

【改訂前学習指導要領】

	1年	2年	3年	計
国語	140 (4)	105 (3)	105 (3)	350
社会	105 (3)	105 (3)	85 (2.4)	295
数学	105 (3)	105 (3)	105 (3)	315
理科	105 (3)	105 (3)	80 (2.3)	290
外国語	105 (3)	105 (3)	105 (3)	315

【新学習指導要領】

	1年	2年	3年	計
国語	140 (4)	140 (4)	105 (3)	385
社会	105 (3)	105 (3)	140 (4)	350
数学	140 (4)	105 (3)	140 (4)	385
理科	105 (3)	140 (4)	140 (4)	385
外国語	140 (4)	140 (4)	140 (4)	420

注：（ ）内は週当たりのコマ数。

新しい学習指導要領　中学校・社会科教育の改善ポイント（国土教育面では・・・）

地理的分野

➢世界の地理的認識を深めるため、世界各地の人々の生活と環境とのかかわりや世界の諸地域の多様性について学ぶ項目を設ける。

➢我が国の国土に対する認識を一層深めるため、日本の諸地域における特色ある事象を他の事象と有機的に関連付けて地域的特色をとらえることができるよう内容の改善を図る。

➢地図の読図や作図などの地理的技能を身に付けさせることを一層重視するとともに、身近な地域の調査の学習において、諸課題を解決し地域の発展に貢献しようとする態度を養うことができるようにする。

歴史的分野

➢現代社会についての理解が深まるよう、近現代の学習を一層重視する。
➢我が国の歴史の背景にある世界の歴史の扱いを充実させる。
➢さまざまな伝統や文化の学習を重視する。

公民的分野

➢・・・・・

「・・・深入りしないこと。」「・・・基本的な理解にとどめること。」「・・・網羅的な取扱いにならないようにすること。」「・・・詳細は取り扱わないこと。」からの卒業

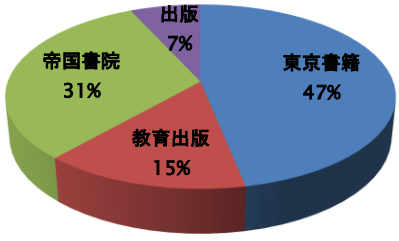
新しい学習指導要領（中学・地理分野）

	学習指導要領（平成10年改訂）	新学習指導要領（平成20年改訂）
学習指導要領抜粋（主な改正ポイント）	イ　都道府県 47都道府県の中から幾つかの都道府県を取り上げ，地理的事象を見いだして追究し，地域的特色をとらえさせるとともに，都道府県規模の地域的特色をとらえる視点や方法を身に付けさせる。 ウ　世界の国々 世界の国々の中から幾つかの国を取り上げ，地理的事象を見いだして追究し，地域的特色をとらえさせるとともに，国家規模の地域的特色をとらえる視点や方法を身に付けさせる。	ウ　世界の諸地域 世界の諸地域について，以下の(ア)から(カ)の各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ，それを基に主題を設けて，それぞれの州の地域的特色を理解させる。 （ア）アジア （イ）ヨーロッパ （ウ）アフリカ （エ）北アメリカ （オ）南アメリカ （カ）オセアニア ウ　日本の諸地域 日本を幾つかの地域に区分し，それぞれの地域について，以下の(ア)から(キ)で示した考察の仕方を基にして，地域的特色をとらえさせる。 （ア）自然環境を中核とした考察 （イ）歴史的背景を中核とした考察 （ウ）産業を中核とした考察 （エ）環境問題や環境保全を中核とした考察 （オ）人口や都市・村落を中核とした考察 （カ）生活・文化を中核とした考察 （キ）他地域との結び付きを中核とした考察

新しい検定教科書（中学・地理分野）

出版社別教科書採択割合（中学・地理分野）

日本文教出版 7%
帝国書院 31%
東京書籍 47%
教育出版 15%



※公立中学校の教科書採択地区（全国585地区）のうち当該出版社の教科書が採択されている地区数の割合

出典：文部科学省ホームページ（採択地区一覧）、（株）学書ホームページ

97

新しい検定教科書（中学・地理分野）－東京書籍－

34p

74p

	旧検定教科書（平成17年3月検定済）	新検定教科書（平成23年3月検定済）
東京書籍 目次	第1編：世界と日本の地域構成 第1章：地球のすがた……8 第2章：世界のすがたとさまざまな 第3章：日本のすがたとさまざまな 第2編：地域の規模に応じた調査 第1章：身近な地域の調査……48 **第2章：都道府県の調査……65** **1．さまざまな地域からなる岩手県** **2．地域の中心的な役割をもつ福岡県** **3．世界と日本を結ぶ東京都** **※自由研究（兵庫県、北海道、愛知県を調べる）** **第3章：世界の国々の調査……99** **1．多様なすがたをもつアメリカ** **2．世界一の人口をもつ中国** **3．世界との結びつきを強めるフランス** **※自由研究（ブラジル、マレーシア、オーストラリア、ガーナを調べる）** 第3編：世界から見た日本のすがた **第1章：さまざまな面から見た日本……138** **1．世界と日本の自然環境** **2．世界と日本の生活と文化** **3．世界と日本の人口** **4．世界と日本の貿易と産業** **5．広がる地域間の結びつき** **第2章：さまざまな視点から見た日本……206** 付録……216	第1編：世界のさまざまな地域 第1章：世界のすがた……5 第2章：世界各地の人々の生活と環境……20 **第3章：世界の諸地域……43** **1．アジア州－急速に進む成長と変化－** **2．ヨーロッパ州－国どうしの統合による変化－** **3．アフリカ州－おもな生産品にたよる生活からの変化－** **4．北アメリカ州－さかんな農業や工業の特色－** **5．南アメリカ州－開発の進展と環境問題－** **6．オセアニア州－強まるアジアとの結びつき－** 第4章：世界のさまざまな地域の調査……99 第2編：日本のさまざまな地域 **第1章：日本のすがた……113** **第2章：世界からみた日本のすがた……125** **1．世界から見た日本の自然環境** **2．世界から見た日本の人口** **3．世界から見た日本の貿易・エネルギーと産業** **4．世界と日本の結びつき** **第3章：日本の諸地域……159** **1．九州地方－環境問題・環境保全に向き合う人々のくらし－** **2．中国・四国地方－都市と島村の変化と人々のくらし－** **3．近畿地方－歴史の中で形づくられてきた人々のくらし－** **4．中部地方－活発な産業を支える人々のくらし－** **5．関東地方－さまざまな地域と結びつく人々のくらし－** **6．東北地方－伝統的な生活や文化を守り育てる人々のくらし－** **7．北海道地方－雄大な自然とともに生きる人々のくらし－** **8．日本をながめて** 第4章：身近な地域の調査……233 統計資料……250

98

新しい検定教科書（中学・地理分野）－東京書籍－

自然災害と防災

出典：東京書籍「新しい社会・地理」（平成23年3月検定）

99

新しい検定教科書（中学・地理分野）－東京書籍－

日本国内の交通・通信

出典：東京書籍「新しい社会・地理」（平成23年3月検定）

100

新しい検定教科書（中学・地理分野）－東京書籍－

九州地方：土砂災害と対策

出典：東京書籍「新しい社会・地理」（平成23年3月検定）

101

新しい検定教科書（中学・地理分野）－東京書籍－

中部地方：黒部ダム、濃尾平野「輪中」

出典：東京書籍「新しい社会・地理」（平成23年3月検定）

102

新しい検定教科書（中学・地理分野）－東京書籍－

近畿地方：交通網の整備効果（水運、私鉄沿線開発）

出典：東京書籍「新しい社会・地理」（平成23年3月検定）

103

新しい検定教科書（中学・地理分野）－教育出版－

	旧検定教科書（平成17年3月検定済）	新検定教科書（平成23年3月検定済）
教育出版 目次	第1編：地球、世界そして日本 第1章：地球を探検する……6 第2章：世界の構成は…… 第3章：日本の構成は…… 第2編：いろいろな地域を調べよう 第1章：身近な地域を調べよう……44 **第2章：都道府県を調べよう……70** **1．テーマを決めて調べよう－東京都を例に－** **2．さまざまな視点から調べよう－北海道を例に－** **3．テーマを関連させて調べよう－鹿児島県を例に－** **※わたしのレポート（大阪府、沖縄県、岩手県を例に）** **第3章：世界の国を調べよう……94** **1．テーマを決めて調べよう－アメリカ合衆国を例に－** **2．さまざまな視点から調べよう－中国を例に－** **3．テーマを関連させて調べよう－オマンダを例に－** **※わたしのレポート（サウジアラビア、オーストラリア、ブラジルを例に）** 第3編：世界からみた日本のすがた **第1章：世界と日本の自然……120** **第2章：世界と日本の人口……138** **第3章：世界と日本の産業……148** **第4章：世界と日本の暮らしと文化……168** **第5章：結びつく世界と日本……184** **第6章：総合的にみた日本（これまでの学習をまとめよう）** 資料編……202	第1編：世界のさまざまな地域 第1章：わたしたちの地球と世界の地域構成……6 第2章：人々の生活と環境……16 **第3章：世界の諸地域……34** **1．アジアの多様性と経済発展** **2．アフリカの人々の暮らしとその変化** **3．統合を強める＝ヨーロッパの国々** **4．世界に大きな影響力をもつ北アメリカ** **5．南アメリカの開発と環境** **6．他地域と結びつくオセアニア** 第4章：世界のさまざまな地域の調査…… 第2編：日本のさまざまな地域 **第1章：日本の地域構成……** **第2章：世界からみた日本のすがた……132** **第3章：日本の諸地域……153** **1．九州地方～環境問題と環境保全を中心とした考察** **2．中国・四国地方～人口や都市・村落を中心とした考察** **3．近畿地方～歴史的背景を中心とした考察** **4．中部地方～産業を中心とした考察** **5．関東地方～他地域との結びつきを中心とした考察** **6．東北地方～生活・文化を中心とした考察** **7．北海道地方～自然環境を中心とした考察** 第4章：身近な地域の調査……250 巻末資料……266

24p

97p

104

新しい検定教科書（中学・地理分野）－教育出版－

オランダ：ポルダー

アメリカ：フリーウエイ

出典：教育出版「中学社会 地理 地域にまなぶ」（平成23年3月検定）

105

新しい検定教科書（中学・地理分野）－教育出版－

自然災害と防災

出典：教育出版「中学社会 地理 地域にまなぶ」（平成23年3月検定）

106

新しい検定教科書（中学・地理分野）－教育出版－

日本国内の交通・通信

出典：教育出版「中学社会 地理 地域にまなぶ」（平成23年3月検定）

107

新しい検定教科書（中学・地理分野）－教育出版－

中国・四国地方：交通網の整備効果（物流、人流）

出典：教育出版「中学社会 地理 地域にまなぶ」（平成23年3月検定）

108

新しい検定教科書（中学・地理分野）－教育出版－

関東地方：交通網の整備効果（物流）

出典：教育出版「中学社会 地理 地域にまなぶ」（平成23年3月検定） 109

新しい検定教科書（中学・地理分野）－帝国書院－

	旧検定教科書（平成17年3月検定済）	新検定教科書（平成23年3月検定済）
帝国書院 目次	第1部：私たちの世界そして日本 第1章：世界の姿をとらえよう…… 第2部：日本の姿をとらえよう 第2部：さまざまな地域の調査 第1章：身近な地域を調べよう～東京八王子市の例～ **第2章：都道府県を調べよう……58** **1．都道府県の調べ方を身につけよう** **2．いろいろな地域に分けて県を調べよう～東京都の例～** **3．特色となるものを見つけて県を調べよう～山形県の例～** **4．さまざまな視点で県を調べよう～福岡県の例～** **プラスα（兵庫県、大阪府、北海道を例に）** **第3章：世界の国々を調べよう……103** **1．世界の国々の調べ方を身につけよう** **2．国内の地域のちがいに着目して調を調べよう～中国の例～** **3．ほかの国との結びつきに着目して調を調べよう～アメリカ合衆国の例～** **4．まわりの国との協力関係に着目して調を調べよう～ドイツの例～** **※プラスα（ケニアを例に）** 第2部：世界と比べてみた日本 **第1章：さまざまな面からとらえた日本……132** **1．自然環境の特色をとらえよう** **2．人口の特色をとらえよう** **3．地域間の結びつきの特色をとらえよう** **4．生活・文化の特色をとらえよう** **5．資源や産業の特色をとらえよう** **第2章：さまざまな特色を関連づけてみた日本……214** 巻末資料……223	第1部：世界のさまざまな地域 第1章：世界の姿……2 第2章：世界各地の人々の生活と環境……16 **第3章：世界の諸地域……44** **1．アジア州** **2．ヨーロッパ州** **3．アフリカ州** **4．北アメリカ州** **5．南アメリカ州** **6．オセアニア州** 第4章：世界のさまざまな地域の調査……110 第2部：日本のさまざまな地域 **第1章：日本の姿……120** **第2章：世界と比べた日本の地域的特色……130** **1．自然環境の特色** **2．人口の特色** **3．資源や産業の特色** **4．地域間の結びつきの特色** **第3章：日本の諸地域……184** **1．九州地方** **2．中国・四国地方** **3．近畿地方** **4．中部地方** **5．関東地方** **6．東北地方** **7．北海道地方** 第4章：身近な地域の調査……260 さくいん……276
	47p	**96p**

110

新しい検定教科書（中学・地理分野）－帝国書院－

自然災害と防災

出典：帝国書院「社会科 中学生の地理 世界のすがたと日本の国土」（平成23年3月検定） 111

新しい検定教科書（中学・地理分野）－帝国書院－

中国・四国地方：交通網の整備効果（通勤・通学、物流）

出典：帝国書院「社会科 中学生の地理 世界のすがたと日本の国土」（平成23年3月検定） 112

新しい検定教科書（中学・地理分野）－帝国書院－

中国・四国地方：交通網の整備効果（農業、観光）

出典：帝国書院「社会科 中学生の地理 世界のすがたと日本の国土」（平成23年3月検定） 113

新しい検定教科書（中学・地理分野）－帝国書院－

東北地方：交通網の整備効果（物流、人流）

出典：帝国書院「社会科 中学生の地理 世界のすがたと日本の国土」（平成23年3月検定） 114

新しい検定教科書（中学・地理分野）－帝国書院－

北海道地方：厳しい自然環境を克服した歴史と農業

出典：帝国書院「社会科 中学生の地理 世界のすがたと日本の国土」（平成23年3月検定） 115

新しい検定教科書（中学・地理分野）－日本文教出版－

	旧検定教科書（平成17年3月検定済）	新検定教科書（平成23年3月検定済）
日本文教出版 目次	第1編：さまざまな地域の成り立ち 第1章：わたしたちが住む地球…… 第2章：世界の地域の分け方…… 第3章：日本の地域の分け方…… 第2編：地域を調べる 第1章：身近な地域を調べる…… **第2章：都道府県を調べる……70** **1．都道府県の調べ方** **2．さまざまな角度から調べる－愛知県を例に－** **3．県内の地域のちがいを調べる－福岡県を例に－** **4．他地域との結びつきから調べる－大阪府を例に－** **5．二つの県を比べる－北海道と沖縄県を例に－** **第3章：世界の国を調べる……110** **1．国の調べ方** **2．さまざまな角度から調べる－アメリカ合衆国を例に－** **3．国内の地域のちがいを調べる** **－中華人民共和国を例に－** **4．他地域との結びつきから調べる－イタリアを例に－** **※ズーム・イン（オーストラリアと南アフリカ共和国を例に）** 第3編：世界からみた日本 **第1章：自然からみた日本……142** **第2章：人口からみた日本……168** **第3章：資源・産業からみた日本……180** **第4章：文化からみた日本……208** **第5章：結びつきからみた日本……224** **第6章：さまざまな特色を関連づけてみた日本……234** 地理を学んで……242 巻末資料……243	第1編：世界地理を学ぼう 第1章：わたしたちが住む世界……2 第2章：世界各地の人々のくらし……18 **第3章：世界の州のようす……38** **1．アジア州のようす** **2．ヨーロッパ州のようす** **3．アフリカ州のようす** **4．北アメリカ州のようす** **5．南アメリカ州のようす** **6．オセアニア州のようす** **第4章：世界の国を調べてみようー ロシアと周辺の国々を例に** 第2編：日本地理を学ぼう ……106 **第1章：私たちが住む日本……118** **第2章：世界からみた日本の姿……138** **1．自然環境からみた日本** **2．人口からみた日本** **3．産業からみた日本** **4．資源・産業からみた日本** **5．結びつきからみた日本** **第3章：日本の地方のようす……162** **1．北海道地方のようす－自然環境をテーマに－** **2．東北地方のようす－文化をテーマに－** **3．関東地方のようす－結びつきをテーマに－** **4．中部地方のようす－産業をテーマに－** **5．近畿地方のようす－歴史的背景をテーマに－** **6．中国・四国地方のようす－人口をテーマに－** **7．九州地方のようす－環境問題をテーマに－** ……276 第4章：身近な地域を調べてみよう－愛知県小牧市を例に－ 地理を学んで……294 巻末資料……296

40p

94p

新しい検定教科書（中学・地理分野）－日本文教出版－

自然災害と防災

出典：日本文教出版「中学社会 地理的分野」（平成23年3月検定） 117

新しい検定教科書（中学・地理分野）－日本文教出版－

中部地方：交通網の整備効果（農業・観光・物流）

出典：日本文教出版「中学社会 地理的分野」（平成23年3月検定） 118

新しい検定教科書（中学・地理分野）－日本文教出版－

中部地方：濃尾平野「輪中」、富山LRT

出典：日本文教出版「中学社会 地理的分野」（平成23年3月検定） 119

新しい検定教科書（中学・地理分野）－日本文教出版－

近畿地方：淀川・大和川の治水

出典：日本文教出版「中学社会 地理的分野」（平成23年3月検定） 120

新しい検定教科書（中学・地理分野）－日本文教出版－

中国・四国地方：交通網の整備効果（物流、農水産業）

出典：日本文教出版「中学社会 地理的分野」（平成23年3月検定）

121

新しい検定教科書（中学・地理分野）の特徴①

- 学習指導要領の改訂を踏まえ、いずれの教科書も、日本を7つの地域（地方ブロック）に区分し、それぞれの地域について、国土の地理的特徴、各種産業・文化の特色とその背景、交通インフラと地域のつながり等について詳説。⇒大幅なページ増
- 地方ブロック単位の視点で見ることによって、また、日本全国の地域を網羅的にカバーすることによって、国土への働きかけ（の歴史）とその効果が鮮明に記述されることに。

日本の諸地域

旧検定教科書：47都道府県の中から幾つか（3つ程度）の都道府県を取り上げ

→ 新検定教科書：日本を幾つかの地域（7つの地方ブロック）に区分し、それぞれの地域について

122

新しい検定教科書（中学・地理分野）の特徴②

- 「世界からみた日本のすがた」や「日本の諸地域」の単元では、土木技術者を中心とする幅広い関係者が作成（関与）した分析データや整理結果（図表）が、学習教材として採用されている。
- とりわけ、高速道路を代表とする交通インフラの整備効果に関連する図表が数多く用いられている。

→ ✓教科書の著作・編集関係者は、国土への働きかけの歴史や効果に関する、全国単位又は地方ブロック単位の優れた分析データや整理結果（図表）を求めている。

✓その範囲は、交通分野だけでなく、防災、都市、環境など幅広い。

123

新しい検定教科書（中学・地理分野）は、

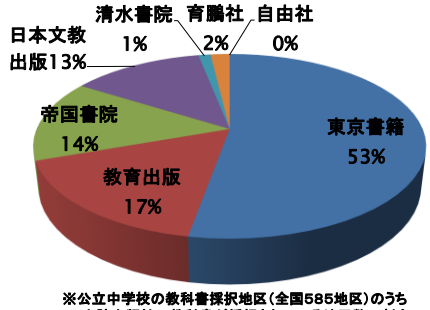
国土教育における「失われた10年」を取り戻す未来への希望

- 単位は「国家」、国家を支える空間は「地方ブロック」
- 土木技術者の説明努力は、検定教科書に反映され得る

124

新しい検定教科書（中学・歴史分野）

出版社別教科書採択割合（中学・歴史分野）



※公立中学校の教科書採択地区（全国585地区）のうち当該出版社の教科書が採択されている地区数の割合

出典：文部科学省ホームページ（採択地区一覧）、（株）学書ホームページ

125

新しい検定教科書（中学・歴史分野）

- 「国土」と「国土への働きかけ」に関する主要な記述
  - 古代文明と城壁、都市インフラ（古代文明）
  - 植物栽培（縄文時代）、稲作（弥生時代）、古墳（古墳時代）
  - 渡来人が灌漑用のため池をつくる技術を伝えた（5世紀頃）
  - 大野城と水城（7世紀）
  - 平城京の整備、五畿七道、行基のみちぶしん（奈良時代）
  - 平清盛による兵庫港整備（平安時代末期）
  - 農村における灌漑用水路の整備や管理（室町時代）
  - 戦国大名による治水・かんがい工事、信玄堤（戦国時代）
  - 五街道の整備、東回り航路・西廻り航路（江戸時代）
  - 河川改修、新田開発と耕地面積の倍増（江戸時代）
  - 産業革命と鉄道、スエズ運河、アメリカ大陸横断鉄道（欧米諸国）
  - 鉄道の開通、汽船の運航、電信網整備、北海道開拓（明治維新）
  - 鉄道ネットワークの整備と国有化（明治時代）
  - 電気、ガス、水道の普及（大正～昭和時代初期）
  - 関東大震災後の復興・都市計画（大正～昭和時代初期）
  - 郊外電車、地下鉄、ターミナル駅（大正～昭和時代初期）
  - ニューディール政策／大規模な公共事業（アメリカ）
  - 東海道新幹線と高速道路の整備（昭和／戦後）
  - 阪神・淡路大震災、東日本大震災（平成） 等

126

新しい検定教科書（中学・歴史分野）の特徴

- いずれの教科書も、歴史上の著名な人物や文化遺産等を主人公とする「政治史・人物史」「事件・出来事史」となっているため、国土形成の歴史や社会資本の役割や効果、社会資本整備に携わってきた人々の苦労などを体系的に学習することは難しい。
- 現代（戦後）のインフラ整備に関する記述が極めて少ない。
- テーマ（発展）学習やトピックには、興味深い学習内容もある。

✓信玄堤（清水書院、育鵬社）
✓室蘭治水にみる水とのたたかい（帝国書院）
✓日本の衛生行政の始まり－長与専斎（日本文教出版）
✓お雇い外国人（育鵬社）
✓八田與一（育鵬社、自由社）など

127

歴史のとらえ方（日本とアメリカの相違）

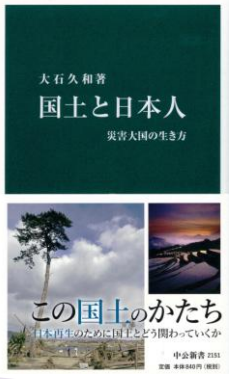
➢日本の歴史は、「誰か（偉人）」が「何か（治世）」をした、してくれたという「政治史・人物史」「事件・出来事史」。その中に「国土への働きかけ」に関する記述が「なお書き」で点在しているイメージ。

➢アメリカの歴史は、過去の合衆国民（今の自分のDNAと繋がる）が自国のために、国土や国民に働きかけてきた努力の物語 。

➢歴史と地理（時間と空間）を一体として捉えることで、また、「制度インフラ」の前提として、その背景となる「装置インフラ」の存在・変化を丁寧に扱うことで、国家や国土、国土への働きかけに対する国民の認識は変わりうる。

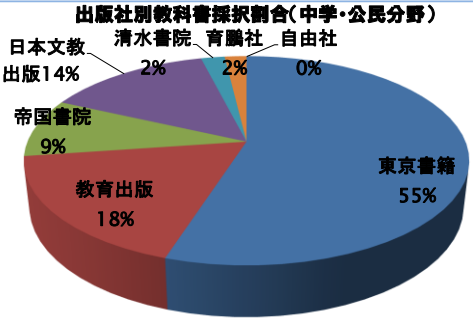
128

国土学の教科書 『国土と日本人』（大石久和著）



129

新しい検定教科書（中学・公民分野）



※公立中学校の教科書採択地区（全国585地区）のうち当該出版社の教科書が採択されている地区数の割合

出典：文部科学省ホームページ（採択地区一覧）、（株）学書ホームページ

130

新しい検定教科書（中学・公民分野）－東京書籍－

社会資本

[市場と政府]もし政府が存在せず、人々の必要とするものやサービスがすべて民間企業によって供給されるとしたら、どのようなことになるでしょうか。

学校はすべて私立になりますから、学費が高くなるなどして教育を受けられない人が出てくるでしょう。通学したり買い物に行ったりするための道路も、まったく建設されないか、建設されても、民間の道路会社に通行料を払わなければならなくなります。この通行料は輸送される商品の価格に反映されますから、わたしたちはその分、高い商品を買わされることになります。有料の遊園地やレジャーランドはつくられるでしょうが、子どもたちの遊ぶ無料の公園はまちから姿を消すことになるでしょう。さらに、公的な社会保障がないために、高齢者や、病気、けがで働くことのできない人たちは、生活していくことが困難になります。

市場経済においては、人々は市場での売買をとおして必要なものやサービスを手に入れ、価格の変化によって生産資源の効率的な利用が図られます。しかし、市場の売買だけでは、人々の豊かなくらしは成り立ちません。市場では供給されにくい公共施設（**社会資本**）をつくったり、医療や教育などの公共サービスを提供したり、あるいは社会保障のための支出を行ったりして、国民のくらしをよくするのは、政府の重要な役割です。

※朱書き、アンダーラインは編集。

出典：東京書籍「新しい社会・公民」（平成23年3月検定）

131

新しい検定教科書（中学・公民分野）－教育出版－

社会資本

[社会資本とは]わたしたちの生活や産業を支える基盤となり、だれもが共同で利用できる公共施設のことを**社会資本**、サービスのことを**公共サービス**といいます。これらは、民間の企業によって利益を得る目的で供給されるのではなく、国や地方公共団体による**公共事業**として、私たちの生活を向上させるために、公平に供給される必要があります。

[社会資本の充実のために]戦後の日本では、大規模な工業用地や港湾をはじめ、産業に関連する**社会資本**が優先的に整備されてきました。その結果、工業生産を中心に経済が大きく成長した一方で、生活に関連する**社会資本**の整備は後まわしにされてきた面があります。今後は、福祉施設や病院などの**社会資本**を含めた、生活環境全体の整備と充実が必要です。

その際、年齢や、障がいがあるかないかにかかわらず、みな同じように社会の一員として自立した生活が送れるようにすること（ノーマライゼーション）が大切です。例えば、階段に車いす用のスロープを付けたり、歩道から段差をなくしたりするなど、現在ある物理的・心理的な「壁」を取り除くこと（バリアフリー）や、初めからだれもが利用しやすい設計にすること（ユニバーサルデザイン）は、すべての人にとって、暮らしやすいまちづくりにつながっていきます。

[写真]熊本市内を走る路面電車、[写真]段差がほとんどない乗降口、[図]社会資本の整備に使われている予算の推移、[図]主な国の社会資本と公共サービスの整備率（下水道普及率、道路舗装率、一人当たりの公園面積、人口10万人当たりの図書館数）

出典：教育出版「中学社会 公民 ともに生きる」（平成23年3月検定） ※朱書き、アンダーラインは編集。

132

新しい検定教科書（中学・公民分野）－帝国書院－

社会資本

[社会資本の整備]私たちの生活は、道路や下水道、公園、文化会館などの**社会資本**によって支えられています。こうした**社会資本**の整備は公共事業とよばれ、国や地方公共団体の歳出、そして財政投融資計画のお金でまかなわれています。高度経済成長期には、道路が**社会資本**整備の約4割をしめていました。しかし、現在ではその比率は低下し、下水道環境衛生などの比率が高くなっています。

[これからの社会資本のあり方]このように、時代の変化とともに、求められる**社会資本**と公共事業は変化していきます。これからは、持続可能な社会を築くために、地球温暖化対策などの環境対策にも力を注ぐことが重要です。また、広い地域を結び航空路の拠点となる機能をもつ国際空港や港湾の整備など、グローバル化のなかで日本の国際競争力を維持するための公共投資など、21世紀にふさわしい公共事業を行う必要があります。

社会資本は、税金などの国民のお金を使って整備するものですから、どのような社会資本が必要なのか、私たちもよく考える必要があります。

[コラム]拡大する羽田空港、[図]社会資本整備の割合、[コラム]環境型社会資本、都市の取り組み（神奈川県横浜市）

※朱書き、アンダーラインは編集。

出典：帝国書院「社会科 中学生の公民」（平成23年3月検定） 133

新しい検定教科書（中学・公民分野）－日本文教出版－

社会資本

[社会資本の整備]多くの人びとが社会的に共同で利用する施設を、**社会資本**といいます。**社会資本**の整備は、個人や企業努力だけでは達成しにくいために、これまでは国や地方公共団体が**公共事業**として整備してきました。**社会資本**には、高速道路、港湾や工業用水など、産業活動の基盤となるものがあります。また、上下水道、街路や公園や緑地、学校・図書館・体育館、病院や老人ホームなど、衛生、環境、教育・文化、社会福祉などの生活基盤となる施設もあります。

[私たちが生かす社会資本]現在、産業基盤は充実し、生活基盤の施設もかなり整ってきました。これらの施設をじょうずに活用していくためには、コミュニティやボランティア、NPO（非営利組織）など、地域社会の支援組織が欠かせません。今後、社会資本の整備には、既存設備の活用を含めて、人びとの生活の質を向上させることを重要な目標にして、地域社会の支援組織と協力することが不可欠です。特に、都市の景観や環境、防災、高齢者福祉、子育て、男女共同参画社会などの分野での協力が必要になってきています。

[図]教育の整備、[図]社会資本の整備とNPOの役割、[写真]公共事業の見直しを報じる新聞（2009年） 公共事業のあり方や要不要をめぐって、費用と効果の面で議論がさかんです。

※朱書き、アンダーラインは編集。

出典：日本文教出版「中学社会 公民的分野」（平成23年3月検定） 134

新しい検定教科書（中学・公民分野）－清水書院－

社会資本

[これからの社会と社会資本]社会資本とは、道路・上下水道・学校など生活や産業の基盤となる公共的な施設のことである。

高齢者や障がい者など、すべての人が利用しやすい交通手段の整備やバリアフリー化、地震や洪水などによる災害を未然にふせぐ街づくりなど、地域の特性や実情を考慮しながら、人びとが安心してくらせるように、生活者の視点に立って**社会資本**を充実させていくことが求められている。

※朱書き、アンダーラインは編集。

出典：清水書院「新中学校 公民 改訂版 日本の社会と世界」（平成23年3月検定） 135

新しい検定教科書（中学・公民分野）－育鵬社－

社会資本

[社会資本と公共サービス]市場経済は、市場のはたらきによって成り立っています。しかし、それだけで望ましい結果が達成できるわけではありません。市場のはたらきには限界があり、市場で購入できる財やサービス（私的財）の消費だけから、生活の豊かさが得られるわけではありません。

それをおぎなうのは政府の役割です。公共財である学校や図書館、公園や病院などを充実させることによって、私たちの生活は真に豊かなものとなります。このような施設を一般に**社会資本**とよびます。社会の基盤づくりのための活動を行うのも、政府の重要な仕事のひとつです。

[写真]暮らしの中にある社会資本 日本では、産業道路や港湾・空港の整備など、産業基盤のための社会資本の整備はかなり行われてきました。より高度な産業基盤のために、今後は科学技術の研究・開発や教育の充実が重要です。

※朱書き、アンダーラインは編集。

出典：育鵬社「中学公民 新しいみんなの公民」（平成23年3月検定） 136

新しい検定教科書（中学・公民分野）－自由社－

社会資本①

[生活と生産を支える社会資本]みなさんの住む地域には、古くからある道路や橋、溜め池や用水、堤防などがありますか。そのそばにその完成を祝ったり、建設を指導した人を讃えた石碑がありませんか。昔から人々は、生活と生産のために必要な大規模な工事を、地域の共同体で協力して行ってきました。そうしてつくられ、社会が共同で利用する施設・設備・財産を総合して**社会資本（インフラストラクチャー）**といいます。

今日の**社会資本**には、上下水道、ごみ処理場のように国民の日々の生活に欠かせないもの、港湾施設、工業用水など産業基盤として生産活動に欠かせないもの、さらには道路、鉄道、空港、電気の供給、電話やインターネットなどの通信の施設・設備など、国民生活にも生産活動にも共に欠かせないものがあります。

また、学校、図書館、博物館、公園、運動場などのように多くの人が使う教育・文化施設も**社会資本**です。保健所や病院のような保険・医療施設も**社会資本**です。そのほか、自然環境保護の観点から行う自然環境の補修・整備や、遺跡、寺院などの文化財・文化遺産の保護・整備なども、過去から未来へと持続していく社会のための**社会資本**の整備として考えられます。

※朱書き、アンダーラインは編集。

出典：自由社「中学社会 新しい公民教科書」（平成23年3月検定） 137

新しい検定教科書（中学・公民分野）－自由社－

社会資本②

[社会資本充実のための費用]社会資本の建設と維持には巨額の費用がかかるため、多くの場合、通常の収益事業として行うことができません。なかには、電気・ガス・水道や公共交通機関などのように、使用料金を徴収して施設・設備の建設費や運用の費用をまかなう場合もありますが、多くのものは、国や地方公共団体によって税金や公債からなる公的資金を投入して整備されています。特に道路、港湾施設、ダムなど長期にわたって巨額の費用がかかる建設事業は**公共事業**と呼ばれ、公的資金を主な財源として、長期にわたって投資したり融資したりしてまかなわれます。

[求められる質の充実]快適な生活という意味から、最近では、**社会資本**の質も問われるようになりました。公共交通機関や公共の施設・設備は、高齢者や障害のある人たちも利用しやすいように、段差をなくしたり、点字の併記を設けるなどのバリアフリー化が進んでいます。2000（平成12）年には、高齢者や障害者も公共交通機関を利用しやすくするため、交通バリアフリー法が制定されました。

[写真]東京たま広域資源循環組合のニツ塚処分場、[写真]羽田空港、[表]社会資本の種類、[図]公共投資の分野別配分の推移、[図]公共投資予算額の推移、[表]教育関連施設数

※朱書き、アンダーラインは編集。

出典：自由社「中学社会 新しい公民教科書」（平成23年3月検定） 138

新しい検定教科書（中学・公民分野）

財政の役割

東京書籍	**①社会資本や公共サービスの提供** ②景気の安定化 「租税と公正」については、前頁の「政府の経済活動と租税」で記述。
教育出版	**①資源再配分機能（道路・ダム・港などの社会資本、・・・）** ②所得の再配分機能 ③経済の安定化機能
帝国書院	**①社会資本や公共サービスの提供** ②所得の格差の是正 ③財政政策
日本文教出版	**②社会資本の建設（道路や住宅・上下水道、・・・）、公共サービスの提供** ③貧富格差の是正、社会保障 ④経済の大きな変動の防止 ※経済にかかわる政府の仕事の①番は「経済関連法制度の整備」
清水書院	**①社会資本や公共サービスの提供** ②所得の再配分（所得の格差の是正） ③景気の変動調整
育鵬社	明示的な表現はないが、「**公共財の提供**」、「税負担の公平」及び「景気変動の調整」についての記述あり。
自由社	**①公共財の提供（道路、橋、港湾施設、上水道、下水道、・・・など）** ②所得の再配分 ③景気変動の調整 **④財政投融資（巨大なダムの建設、高速道路の建設、・・・など）**

出典：東京書籍「新しい社会・公民」（平成23年3月検定）ほか

新しい検定教科書（中学・公民分野）

景気変動と公共事業

東京書籍	○**不景気（不況）**・・・減税、**公共事業への支出（公共投資）を増やす** ○好景気（好況）・・・増税、公共事業の削減
教育出版	○好況の時・・・増税、公共事業などの歳出減 ○**不況の時・・・**減税、**公共事業などの歳出増**
帝国書院	○不況の時・・・減税など
日本文教出版	○**不景気（不況）時・・・公共事業を盛んにする**、減税 ○インフレの危機がある時・・・公共事業をひかえる、増税
清水書院	○**不景気の時・・・財政支出を増やす**、減税 ○インフレ傾向の時・・・財政支出を減らす
育鵬社	○**不況の時・・・公共事業への支出（公共投資）を増やす**、減税 ○景気過熱（インフレ）の時・・・公共事業をひかえる、増税
自由社	（明示的な記述はない。）

出典：東京書籍「新しい社会・公民」（平成23年3月検定）ほか

新しい検定教科書（中学・公民分野）

財政赤字（国債）の要因と公共事業

東京書籍	収入は原則として税金によってまかなわなければなりません。しかし、**税金だけでは必要な収入を得ることができない場合**、政府は税収の不足を補うために公債（国の場合は国債、地方公共団体の場合は地方債）を発行して借り入れを行います。
教育出版	**社会保障関係費などの歳出の増加や、度重なる景気対策など**のため、深刻な財政赤字が続き、公債の発行残高が年々増加しています。
帝国書院	日本の財政がかかえる大きな問題は、**税収が歳出をまかなうのに十分でない**ため、財政赤字が拡大していることです。それを補うために国債を発行しなければなりません。
日本文教出版	国が**公共事業**に必要なお金を国債でまかなうのは、家計が住宅の建設費用を住宅ローンとして借り入れることに似ています。また、**不景気で税収が減る**とやむをえず国債を発行しなければならないこともあります。
清水書院	**財政の規模が大きくなり、租税収入だけではまかないきれなくなる**と、政府は国債を発行して民間から借金をするようになった（赤字財政）。**不景気がつづき租税収入が減少し**、多額の国債が発行されて、国の財政を大きく圧迫している。
育鵬社	国や地方公共団体には、**道路や河川の改修などの大規模な建設事業を行うときや、景気対策で支出を増やさなければならないときなど、税金だけで財政支出をまかなえないとき**があります。このような場合、国や地方公共団体は、収入の不足を補うために公債を発行し、・・・。（中略）国債や地方債の残高は年々増加しており、果たして返済できるのかという懸念もあります。
自由社	行政の仕事の増加→**行政組織の複雑化、行政の権限・費用・人員の肥大化**→財政赤字の深刻化 【記述の大枠】

出典：東京書籍「新しい社会・公民」（平成23年3月検定）ほか

新しい検定教科書（中学・公民分野）の特徴

- 学習指導要領に基づき、すべての教科書（7社）が**『社会資本』に関する記述を展開しているが、その内容（説明の仕方や分量など）は出版社によって異なる。**
- また、**「産業基盤としての社会資本はかなり整備された」とする教科書が少なくない。**
- 「財政の役割」について、**ほとんどの教科書が社会資本整備を含む「資源再配分機能」を第１位に位置づけている。**
- **ほとんどの教科書が「不況（デフレ）時には公共事業を増やす」とする財政政策を明示している。**
- **財政赤字（国債発行）の要因の捉え方／説明の仕方は、教科書によって異なる。**

新しい検定教科書（中学・公民分野）－育鵬社の例－

「メディ・リテラシー」に関連する記述は、中学・公民分野の全ての教科書において取り上げられています。

メディア・リテラシー

日本でも戦前・戦中の一時期、あるいは終戦後の占領期に、政府やＧＨＱによりきびしい言論統制が行われました。そのため、国の進路を左右する重大な場面でも、正しい世論が形成されず、大きな反省につながる結果をまねいたという事例があります。

今の日本では、広く言論や報道の自由が認められていますが、**マスメディアがある事件について同じ事実を伝えても、分析や解釈や結論のちがいが報道の差となって表れることがあります。**それにより、受け手がまったくちがった印象をもつこともあります。

また、マスメディアから得られる情報が常に正しいとは限りません。**マスメディアが自社の思惑に基づいて一面的な情報を流す世論操作が行われたり、購読者や視聴者を増やすため、人々の興味を引く内容を大きく取り上げ、重要な情報を小さくあつかうこともあります。**

国民はマスメディアの情報をうのみにするのではなく、なるべく種類や立場のちがう複数のメディアから情報を得るなどして、きちんと判断する能力（メディア・リテラシー）をもつことが大切です。

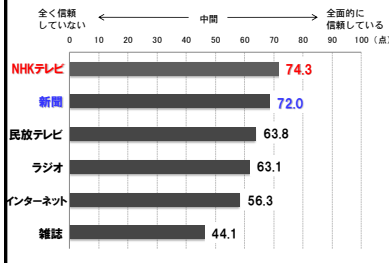
【育鵬社：平成23年3月30日検定済】

※色書き、アンダーラインは編集。

出典：育鵬社「中学公民 新しいみんなの公民」（平成23年3月検定）

メディアに関する全国世論調査（新聞通信調査会2011）

■ 各メディアの信頼度

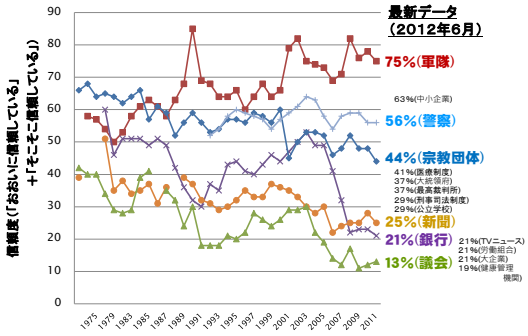


■ 各組織、団体の信頼感

国	信頼層	不信層
病院	75.4%	18.1%
報道機関	67.4%	25.4%
裁判所	60.6%	25.8%
警察	52.2%	39.9%
中央官庁	25.0%	55.8%
国会	20.4%	71.7%
政党	12.0%	77.9%

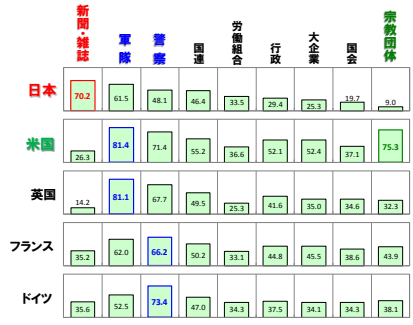
出典：2011年 メディアに関する全国世論調査（公益財団法人 新聞通信調査会）

アメリカ国内の組織・制度への信頼度（ギャラップ2012）



出典：http://www.gallup.com/poll/155258/confidence-public-schools-new-low.aspx
「ギャラップ調査」：全米の約1,000人を対象としたランダムサンプリング調査（電話インタビュー）

世界各国における組織・制度への信頼度（2000年）

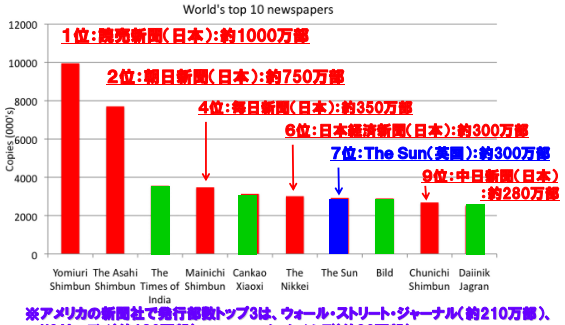


国	新聞・雑誌
日本	70.2%
米国	26.3%
英国	14.2%
フランス	35.2%
ドイツ	35.6%

（注）各国の全国18歳以上男女1,000サンプル程度の回収を基本とした意識調査の結果である。数字は各組織・制度に関し「非常に信頼する」と「やや信頼する」の回答率の合計。各組織・制度は日本の信頼度の高い順に並べた。軍隊は日本の場合、自衛隊について含いている。
（資料）電通総研・日本リサーチセンター編「世界60カ国価値観データブック」

出典：社会実情データ図録（アルファ社会科学株式会社 本川裕 作成）http://www2.ttcn.ne.jp/honkawa/5215.html

世界の新聞発行部数「Top10」（世界新聞協会2011）



※アメリカの新聞社で発行部数トップ3は、ウォール・ストリート・ジャーナル（約210万部）、USAトゥデイ（約180万部）、ニューヨーク・タイムズ（約90万部）。

出典："World Press Trends 2011" :The World Association of Newspapers and News Publishers（WAN-IFRA）
※：米国ABC（Audit Bureau of Circulations）発表の2011年3月期（2010年10月～2011年3月）の新聞発行部数

メディア・リテラシーと国土教育

- ✓国土への働きかけが「いかにあるべきか」（程度・対象・手段など）は、主権者である国民の判断。
- ✓このため、国民が判断できるだけの情報が、必要な質と量、必要なタイミングで届けられていなければならない。
- ✓そして、国民は、メディア情報を鵜呑みにせず、主体的に（批判的に）読み解いて、これを活用する能力を持たなければならない。

「輿論（よろん）」と「世論（せろん）」

- 佐藤卓己氏の『輿論と世論 日本的民意の系譜学』（平成20年9月、新潮選書）
- 輿論（よろん）
  - 伝統的な中国語
  - 「よろん（輿論）＝public opinion」
  - 「責任ある公論」（福澤諭吉『文明論之概略』）
  - 維新のスローガン「公議輿論」は五箇条の御誓文で「広く会議を興し、万機公論に決すべし」と表現された。つまり「輿論」とは尊重すべき公論だった。
- 世論（せろん、せいろん）
  - 明治日本の新語
  - 「せいろん（世論）＝popular sentiments」
  - 「世上の雰囲気」（福澤諭吉『文明論之概略』）
  - 軍人勅諭の「世論に惑はず、政治に拘らず」が示す通り、「世論」とは暴走を阻止すべき私情であった。
- 敗戦後、当用漢字表で「輿」が制限漢字となったことをきっかけに、「輿論（よろん）」が「世論」になって「世論（よろん）」になってしまった。

→ 「輿論（よろん）」と「世論（せろん）」を明確に区分し、「輿論」を形成していこう

出典：佐藤卓己『輿論と世論 日本的民意の系譜学』（平成20年9月、新潮選書）

あらためて、国土教育とは・・・

- ➢ 国土への働きかけと国土からの恵み、
- ➢ 脆弱な国土と厳しい自然環境、
- ➢ 苦難を克服してきた先人たちの歴史、
- ➢ 将来世代への豊かな国土の継承、
- ➢ こうしたことに素直に気づき、学び、そして行動することのできる芯（信）のある日本人を育てていくこと

最も尋常平凡なものは採録されない（柳田国男）

新聞は決して前代の史官のように、伝うるに足る事蹟の選択はしないのだが、それでも生活の最も尋常平凡なものは、新たなる事実として記述せられるような機会が少なく、しかもわれわれの世相は常にこのありふれたる大道の上を推移したのであった。そうしてその変更のいわゆる尖端的なもののみが採録せられ、他の碌々としてこれと対峙する部分に至っては、むしろ反射的にこういう例外のほうから、推察しなければならぬような不便があったのである。

出典：柳田国男「明治大正史世相編（上）」講談社

151

経験の幅が狭くなった日本人（曽野綾子氏）

この頃、国民も不勉強です。私は戦前のむちゃくちゃな貧乏や、もっとひどかった戦中を知っているから何でもないのですが、今はたくさんの人たちが「バブルしか知らない」とか「バブルがはじけてからの日本しか知らない」という人さえ出てきた。だから、経験の幅が恐ろしく狭く気の毒です。（中略）私はせめて、各県に未舗装の道を１０キロくらいずつ残しておいて、修学旅行の時、そこを走らせたいですね。スコップを積んでおいて、何かあったらちゃんと生徒に土木工事をさせるんです。（中略）地球ができた時から、道は舗装されていると思っているんです。

出典：読売新聞2013年1月1日～4日 「新春対談2013」 曽野綾子さん×橋本五郎編集委員

152

「経験する」ということ

- 過去の歴史に自分を置いてみる。
- 外国（インフラ未整備）で数ヶ月生活してみる。
- 田舎で暮らす。

153

「言霊」という迷信からの脱却

「死」「戦争」「軍隊」「宗教」「国家」「原発」「公共事業」「土木」・・・

本来、忌避すべきではない言葉（事項）

それを忌避していないか？

何か（誰か）に遠ざけられていないか？

それに気付いていないのではないか？

将来世代のために、今、自分は、何をなすべきか？

154

国土あってこそ、国土に働きかけてこそ、それを教えてこそ

「地を離れて人なく、人を離れて事なし、故に人事を論ぜんと欲せば、先ず地理を観よ」（吉田松陰）

（『幽囚録』（1854）より）

155

FIN

156